

会報 あおもり

Vol.
211
2026
1/15

精進して精進して精進して
精進して精進してまいます!!



青森県
土地家屋
調査士会

小林要藏氏黄綬褒章受章

- ・受章記念祝賀会
- ・令和7年9月20日
- ・ホテル青森



↑テレビ取材
黄綬褒章を受章して



●役員歴等

- 青森県土地家屋調査士会理事（2年）
- 青森県土地家屋調査士会副会長（6年）
- 青森県土地家屋調査士会会長（8年）
- 日本土地家屋調査士会連合会東北ブロック協議会会長（2年）
- 青森県土地家屋調査士会名誉会長（6年）
- 青森県土地家屋調査士会顧問（3年）

●表彰歴等

- 平成20年5月 青森県土地家屋調査士会会長表彰
- 平成21年5月 青森地方法務局長表彰
- 平成22年7月 日本土地家屋調査士会連合会東北ブロック協議会会長表彰
- 平成23年7月 仙台法務局長表彰
- 平成25年6月 日本土地家屋調査士会連合会会長表彰
- 平成26年6月 日本土地家屋調査士会連合会会長感謝状
- 平成27年 青森県土地家屋調査士会オンライン申請利用率全国第1位
- 平成29年10月 青森市褒章
- 平成30年6月 日本土地家屋調査士会連合会会長感謝状
- 令和6年6月 法務大臣表彰
- 令和7年4月 黄綬褒章受章

祝賀会の発起人を代表して

青森県土地家屋調査士会会長 小笠原 陽

この度、当会顧問であられます小林要藏先生の、令和7年春の褒章における黄綬褒章ご受章の栄誉に対し、心よりお祝い申し上げます。

この輝かしい栄誉は、先生ご自身はもちろんのこと、長年にわたり先生をお支えになられた奥様、ご家族の皆様、そして私たち会員にとりましてもこの上ない慶びであり、誠に大いなる誇りでございます。

ご来賓の皆様には、公私ともにご多用中にもかかわらず、多数ご臨席を賜りましたことを重ねて厚く御礼申し上げます。

小林要藏先生におかれましては、今後ご健勝にて益々ご活躍いただき、引き続き会員へのご指導、並びに本会及び土地家屋調査士制度の更なる発展のため、特段のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

トピックス

- 2** 小林要蔵先生が黄綬褒章を受章！
テレビ取材もあり…


- 4** 新年のあいさつ
各リーダーが
今年の抱負を語る


- 10** 青調会活動報告
新会長にバトンタッチ！
球技大会の優勝賞品は…


- 12** 今年は「午年」
60歳の丙午（ひのえうま）
青森会で唯一の会員は…


- 18** HAPPY NEW BABY!!
いきなり2児のパパに
なって…


- 21** 北海道・東北ブロック交流会
「はこだて」で開催！
いろんな会員が…


- 22** SAKAMOTO WALK
坂本新理事の函館散歩！
最後はやはりグルメ！


- 24** 定時総会
各総会で役員改選！
それぞれ新しい体制へ…


- 30** 表彰受賞者のよろこびの声
各賞を受賞した皆さまの
よろこびの声を是非！


- 36** 渡邊文行先生が
瑞宝双光章を受章！
受章を知った孫は…


- 38** 支部だより
雪下ろし、田んぼアート
などなど


- 44** 小林光義先生登山道測量
過酷な作業…そのために
先生がしていることは…


- 46** みちプロ広報
今回も熱戦が！
オレンジ松下が挑発！？


- 48** 県研修会
第1回研修会の講師を
初めて務めて…


- 50** 役員のひとつ
新しい理事が仲間入り！
意気込みを語る！


- 54** 東北ブロック役員研修会
三戸連合会副会長が講師
懇親会に京都会も参加!!


- 55** 若手法務局職員が
一筆地調査を見学・体験！
気になるアンケート結果は…



今回一緒になった土地が
僕しかったですか？
嬉しかった 15人
僕しかった 0人
- 58** レアな自動販売機
まだまだいろんなものが…
なんとお守りも！？


- 60** 「写真で一言」作品発表！
むかきんTシャツを
手にしたのは富山の…


- 61** 新人研修会
今年は2人が参加
濃度の濃い、有意義な…


- 62** NewFace
昨年は2名の入会！
きっかけ、抱負は…


- 63** 編集後記
初めての編集作業に
何を思う…



表紙「滝行」について

副会長 小林 一馬

私にはたくさんの欠点がある。

これまでどれだけの方々に迷惑をかけてきただろう…

あの日、郡山市で起こした過ちを、起こす前に戻れるなら戻りたいが、時間を戻すことはできない。

戻ることができないのなら、起こしてしまった過ちを猛省し、二度と同じことを起こさないようにしなければならない。

ある方のご助言もあり、反省をするとともに、己と向き合い、己の弱さに打ち勝ち、強い精神力を養うために『滝』に打たれた。

今まで受けたことのないもの凄い水圧の下で、「祓い給い、清め給え」と何度も唱えながら『滝』に打たれた。

今回『滝』に打たれたことにより、自分自身、少しは成長できたのではないかと感じている。

まだまだ『滝』に打たれ足りない未熟者の私ですが、日々精進して参りますので、今後とも変わらぬご指導を賜りますようお願いいたします。



「滝」に打たれた方へ
ご連絡ください。
一緒に打たれましょう！





新年の ごあいさつ



会長 小笠原 陽

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

会員の皆様には、ご家族お揃いでお健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。また、日頃より本会の会務運営に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。関係官公庁をはじめ、関係各位の皆様にも、平素からのご指導・ご支援に深く感謝申し上げます。

昨年 の 定 時 総 会 に お いて 2 期 目 の 会 長 職 を 拝 命 し、以 来 持 続 可 能 な 会 務 運 営 を 念 頭 に 事 業 執 行 して ま い り ま し た。長 引 く 物 価 高 騰 や 賃 金 上 昇 等、依 然 と して 厳 し い 状 態 が 続 いて お り ま す。こ う し た 中、昨 年 の 連 合 会 総 会 に お いて、令 和 9 年 度 よ り 会 員 1 人 あ た り 月 額 1,000 円 の 連 合 会 会 費 値 上 げ が 決 定 い た し ま し た。以 前 よ り 皆 様 へ は お 伝 え し て お り ま し た が、本 会 に お いて は 年 間 150 万 円 ほ ど の 増 額 と な り、こ れ を 捻 出 す る に は 同 額 の 会 費 値 上 げ を お 願 い し な け れ ば な り ま せ ン。つ き ま し て は、本 年 の 定 時 総 会 に お いて 上 程 さ せ て い た だ き た く 存 じ ま す。本 会 を 持 続 可 能 な 組 織 と して 維 持 し て い く た め に も、ど う か ご 理 解 く だ さ り、ご 承 認 く だ さ い ま す よ う お 願 い 申 し 上 げ ま す。

現 執 行 部 と し て は、さ ら な る 財 務 の 健 全 化 は も と よ り、事 務 局 の 管 理 体 制 の 充 実 に 加 え、事 務 局 業 務 の DX (デ ジ タ ル ト ラ ン ス フ ォ ー メ ー シ ョ ン) 化 を 推 進 し、執 行 部 と 事 務 局 と の 間 で、よ り 透 明 性 の 高 い 迅 速 な 情 報 共 有 体 制 を 構 築 す る と と も に、次 代 へ の 円 滑 な 継 承 を 見 据 え た 組 織 づ く り に 一 層 努 め て ま い り ま す。

長 年 に わ た り 本 会 を 支 え て こ ら れ た 諸 先 輩 方 の ご 尽 力 に 敬 意 を 表 し つ つ も、今 ま さ に 次 の 時 代 に ふ さ わ し い 運 営 体 制 へ の 転 換 期 を 迎 え て お り ま す。

ま た、連 合 会 に お いて は 特 別 会 計 の 整 理 が 進 め ら れ て お り、さ ら に 令 和 7 年 4 月 に は、連 合 会 の 会 計 が 拠 っ て 立 つ 「公 益 法 人 会 計 基 準」が 見 直 さ れ ま し た。こ れ ら の 動 き は、同 じ 特 別 法 人 で あ る

当 会 に と つ て も 無 関 係 で は な く、会 計 処 理 や 資 金 管 理 の 在 り 方 を 改 め て 検 討 す る 必 要 性 が 高 ま っ て お り ま す。

こ う し た 連 合 会 に お ける 動 向 と、会 計 処 理 の 抜 本 的 な 検 討 の 必 要 性 を 踏 ま え、我 々 青 森 会 に お い て も 調 査 士 会 館 お よ び 会 館 維 持 積 立 金 特 別 会 計 の あ り 方 に つ い て、執 行 部 だ け で は な く 会 員 の 皆 様 と と も に 見 直 し を 進 め て い か な け れ ば な ら ない 重 要 な 課 題 で あ る と 考 え て お り ま す。会 員 の 皆 様 か ら の ご 意 見 や ご 要 望 を 広 く 伺 い な が ら、互 い に 知 恵 を 寄 せ 合 い、よ り よ い 形 を 模 索 し て ま い り た い と 思 い ま す。

次 に、狭 あ い 道 路 解 消 問 題 に つ い て で す。安 心 ・ 安 全 な ま ち づ く り に は、狭 あ い 道 路 の 解 消 が 必 要 で あ り、我 々 土 地 家 屋 調 査 士 の 関 与 が 不 可 欠 で す。昨 年 度 よ り、公 益 社 団 法 人 青 森 県 公 共 嘱 託 登 記 土 地 家 屋 調 査 士 協 会、青 森 県 土 地 家 屋 調 査 士 政 治 連 盟 と 共 に、狭 あ い 道 路 の 解 消 に 向 け た 取 り 組 み を 進 め て ま い り ま し た。当 会 政 治 連 盟、小 林 昭 雄 会 長 と 同 じ く 全 国 土 地 家 屋 調 査 士 政 治 連 盟 副 会 長 で あ り、狭 あ い 道 路 の 解 消 問 題 に 積 極 的 に 取 り 組 ん で お ら れ る 愛 知 県 岡 崎 市 の 早 川 正 敏 先 生 を お 招 き し、勉 強 会 を 開 催 す る な ど、当 会 に お い て も 狭 あ い 道 路 解 消 の 現 状 に つ い て 理 解 を 深 め て お り ま す。狭 あ い 道 路 問 題 解 消 の 第 一 歩 は 条 例 ・ 要 綱 の 制 定 が 何 よ り も 重 要 で す。こ れ ま で 以 上 に 三 者 及 び 関 係 各 位 と 連 携 を 深 め、取 り 組 み を 推 進 し て ま い り た い と 考 え て お り ま す。

最 後 に、本 年 が 会 員 の 皆 様、ご 家 族 の 皆 様、ス タ ッ プ の 皆 様 に と つ て 希 望 溢 れ る 輝 か し い 一 年 と な り ま す よ う、そ し て 我 々 土 地 家 屋 調 査 士 が 必 要 と さ れ 続 け る 資 格 者 で あ る た め に、会 員 の 皆 様 と 共 に 歩 ん で い き た い と 思 い ま す。本 年 も 変 わ ら ぬ ご 支 援 と ご 協 力 を 賜 り ま す よ う お 願 い 申 し 上 げ、新 年 の ご 挨拶 と さ せ て い た だ き ま す。



新年の ごあいさつ

青森地方法務局
局長 草野 謙治



新年明けましておめでとうございます。

青森県土地家屋調査士会会員の皆様には、お健やかに新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、日頃から登記事務を始めとする法務行政の適正・円滑な運営に格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和6年4月1日から所有者不明土地問題の対策の中核となる相続登記の義務化がスタートしました。同問題の解消に向け、本年も新たな制度が導入される予定であり、2月2日から、相続登記が必要な不動産を容易に把握できるよう所有不動産記録証明制度の運用が、さらに、4月1日から、住所等変更登記の義務化が開始されます。こうした施策を契機として、身近な不動産の管理や処分に対する国民の関心が高まり、土地家屋調査士の皆様にも表示に関する登記や土地の筆界の専門家として大いに御活躍いただくことが期待されています。

このような中、貴会から、当局で実施している表題部所有者不明土地解消作業に所有者探索委

員として32名の会員を御推薦いただいておりますほか、筆界特定業務につきましても筆界特定調査委員として40名の会員を御推薦いただいております。不動産の表示に関する登記及び筆界を明らかにする業務の専門家である会員の皆様方の御尽力により、いずれも順調に進捗していることに深く感謝申し上げます。

当局としましては、これらの施策を着実に実施していく所存ですが、そのためには、表示に関する登記の唯一の専門家であり、高度な専門知識・技術を有する土地家屋調査士の皆様との緊密な連携・協力が不可欠であると考えておりますので、貴会及び土地家屋調査士の皆様には、本年も引き続き御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、土地家屋調査士制度の更なる発展と、青森県土地家屋調査士会及び会員の皆様のますますの御活躍を祈念申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。

実家の山林などを相続したようだけど、
くわしいことが分からないということもあります…

【所有不動産記録証明制度の新設】(令和8年2月2日施行)

被相続人(亡くなった親など)が登記簿上の所有者として記録されている不動産を一覧的にリスト化した証明書(所有不動産記録証明書)の発行を請求することができるようになります。



住所等変更登記の義務化(令和8年4月1日施行)

- 住所や氏名・名称の変更登記の申請も義務化されます。
- 転居等により住所等の変更があった日から2年以内に登記をする必要があります。
- 不動産の所有者から法務局に対して、あらかじめかんたん・無料の申出をしてもらうことにより、その後は法務局が職権で住所等変更登記を行うサービス「スマート変更登記」も始まります。
- 法務局では、住所等変更登記の義務化とスマート変更登記についても広報活動を行っています。



シラナカッタヌキ



新年の ごあいさつ

日本土地家屋調査士会連合会

副会長 三戸 靖史



新年あけましておめでとうございます。皆さま健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私が新年を迎えるにあたって気になることは12月7日H3 ロケットの打ち上げが成功したかどうかです。種子島宇宙センターから打ち上げられるH3 ロケットには「みちびき5号機」が搭載されています。

世界に不穏な空気が流れる中、他国の影響を受けずに日本の安全保障を維持することは当然のこと、人工衛星は民間においてもいまや必要不可欠な技術であり、欠くことのできない社会基盤です。携帯端末の位置情報の機能を想起しただけでもその重要性は明らかです。現在地から目的地まで何分で到達できるか、私たちは日々利用しています。そして今後は自動運転技術等に利用され、ハンドルを握らない時代が到来することでしょう。そして日本では人口減少、労働人口減少の問題があり、例えば昨今話題のコメ不足も自動運転、自動作業により多少は解消されていくのでしょうか。

他方、我々が行う測量の分野においても、特に青森会では2000年ころからGPS測量を採り入れ、地積測量図の作成を通じて公共座標・国家座標の提供をしてきました。ただ日本社会の長きにわたる停滞同様、位置情報の活用面においてはアイデア不足の感は否めません。確かにいち早くドローンを採用し先行してきた会員も多く存します。しかし、後追いの業者の猛追によりその優位性はよく見えなくなったように思います。

そこで、次のアイデアを検討するときが来たように思います。残念ながら私は日々アンテナを高く、法務省、国交省、地図会社等民間企業の情報を収集していますが、これだという劇的なものには出会っていません。しかし、もしかしたら使えるのではないかという細かい情報（それなりの希望）は得ています。この中で私が確信しているのは、我々が扱う土地・建物の位置情報が今は十分に活用されていないにしても日本全体の将来には必ず役立つということです。

私は青森会会長そして東北ブロック会長の時から国家座標の有用性について説き、不動産登記法のとおり全国に標準化することを目指して令

和5年6月に日調連に行ったわけです。技術の基盤が整備される必要性が高いと同様に、日調連の財政的基盤の整備も必要であると感じていたため、この2つを中心に令和5-6年度はちょっとした改革を実行しました。その過程において国でいえば行政という役割が日調連の職員であることから、有能な人材の確保を図るべく労働環境の改善にも取り組みました。他にもまだまだあります。

私は挨拶を求められて、こんなことを言ったことがあります。一般の会社でも同じだと思いますが、困難な案件を振られた時に「事前に」という言葉でもって自己保身に走っていませんか、「文書で」という言葉で逃げていませんか、と。他は分かりませんが、日調連では、尋ねられたら即答できるよう、常に自ら問題・課題を想定し、どのように解決するかにつき回答を用意する心構えが大切だと、調子に乗って語ってきました。

いきなり挨拶が振られること、登壇させられること、難題を突き付けられること、日常茶飯事です。政治の世界を見てください。批判が大好きな方でも感じることにと思いますが、短時間で見解を話すには日々検討し備えていなければいけません。一朝一夕のものでは対応できません。このことを青森会の役員の皆様にお伝えするとともに、会員の皆様にも場面を変えて筆界立会のときを想定して述べさせていただきました。立会では事前にあらゆる情報を入手し、分析して臨んでこそ、いい仕事ができるはずです。

結びに、皆様が新年を迎えるにあたり、今年はどうのような案（餡）を頭の中に詰めたのか、気になるところです。私の案（餡）は、今後10年先の土地家屋調査士制度を取り巻く環境の進展について予測し、その対応策を提案し、着実に布石を打つことです。日調連の仲間、そして全国50会の役員の皆様、そして会員、さらには国民の皆様とともに私たちの職業を通じて日本全体を元気付けていきたいです。フィールドは日本全体です。

皆様がそれぞれ決意した中で1年間無事にお過ごしいただけることを祈念いたしまして、またH3 ロケットの打ち上げ成功を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

本年もどうかよろしく願います。



新年の ごあいさつ

青森県土地家屋調査士政治連盟

会長 小林 昭雄



新年、あけましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、さわやかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。新しい年の初めにあたり、会員皆様とご家族のご多幸を心からお祈り申し上げます。

2年前の定時大会で会費の値上げをご承認戴き政治連盟も独自の活動を行っております。調査士会と公嘱協会、そして政治連盟が三位一体となり取り組んだのが【狭あい道路解消】に向けた勉強会です。昨年4月に公嘱協会顧問の県議会議員の方々と、5月と11月に弘前市議会議員の方々と勉強会を行い、取組姿勢を強化して頂きました。

幸いな事に【狭あい道路解消】に向けた公嘱協会研修会の講師に全調政連副会長の早川正敏さんを招き弘前勉強会でも早川さんによる地元岡崎市の現状報告を交えながら意味のある勉強会が開催できたと思っております。全調政連の椎名会長のお墨付きで早川さんを迎え入れる事が出来た事には大変感謝しております。国民の防災・減災に向けた取組は我々土地家屋調査士だけではありませんが実情をよく知る調査士だからこそ官公署そして政治家の方々によく知って頂きたいと思っております。引き続きの開催を検討してまいります。

昨年度から全国土地家屋調査士政治連盟の副会長を拝命し【道路内民有地の解消】に向けた取組を担当しております。副会長には自選でなった訳では有りませんが、東北ブロックと北海道ブロックがタッグを組み、交代で拝命されている状況です。道路内民有地PTの委員長として、道路内にある民有地が様々な形で問題を起こしている状況にあり、インフラ整備に取り組む全調政連は

全国の実態を把握したいと考え、会員及び市区町村の皆様方にアンケートをお願いする事になりました。アンケート集約後、国の関係機関と国会議員の方々に「道路内民有地解消」と「助成金」等の取組を推し進めて頂きたいと考えております。

調査士業務を通じて世の中には様々な問題が有ることを認識しております。日調連と全公連そして全調政連が様々な角度から問題点に取り組み、調査士法の改正・改善等の要求を帰属意識に燃えながら対応したいと考えております。

最後になりましたが、会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。



令和7年11月25日【狭あい道路解消勉強会】
講師 全調政連副会長 早川 正敏氏



【狭あい道路解消勉強会】のようす



新年の ごあいさつ

公益社団法人
青森県公共嘱託登記土地家屋調査士協会
理事長 蝦名 隆



新年あけましておめでとうございます。

新年を迎え社員の皆様におかれましては、ご家族の皆様と新年を迎えたことと心よりお喜び申し上げます。また、日頃より社員の皆様には、協会の事業、運営におきまして、ご理解とご協力をいただき心より御礼申し上げます。

去年は、全国で熊の被害が毎日のように報道されています。青森県を例としてみると、昨年11月18日時点で2,684件の出沒、前年同期の約3倍に達しています。被害に会われた皆様におかれましては、心よりお見舞い申し上げます。

さて、当協会の公益事業には、公共嘱託登記に係る受託事業、地図整備の促進に係る受託事業、土地境界や公共嘱託事業に関する知識の普及活動(研修会)、基準点検測量事業、官公署未登記建物の建物表題登記事業等があります。

公共嘱託登記に係る受託事業について、協会社員の組織力を生かし、適正かつ迅速に処理を行い、75件を受託、業務を完了しました。

地図整備の促進に係る受託事業については、2年目作業である登記所備付地図作成作業として弘前市城南地区の現場作業も終了し成果品の作成に入りました。また、八戸市内丸・売市地区についても、1年目作業の基準点の成果品の作成を行っており、順調に推移しております。

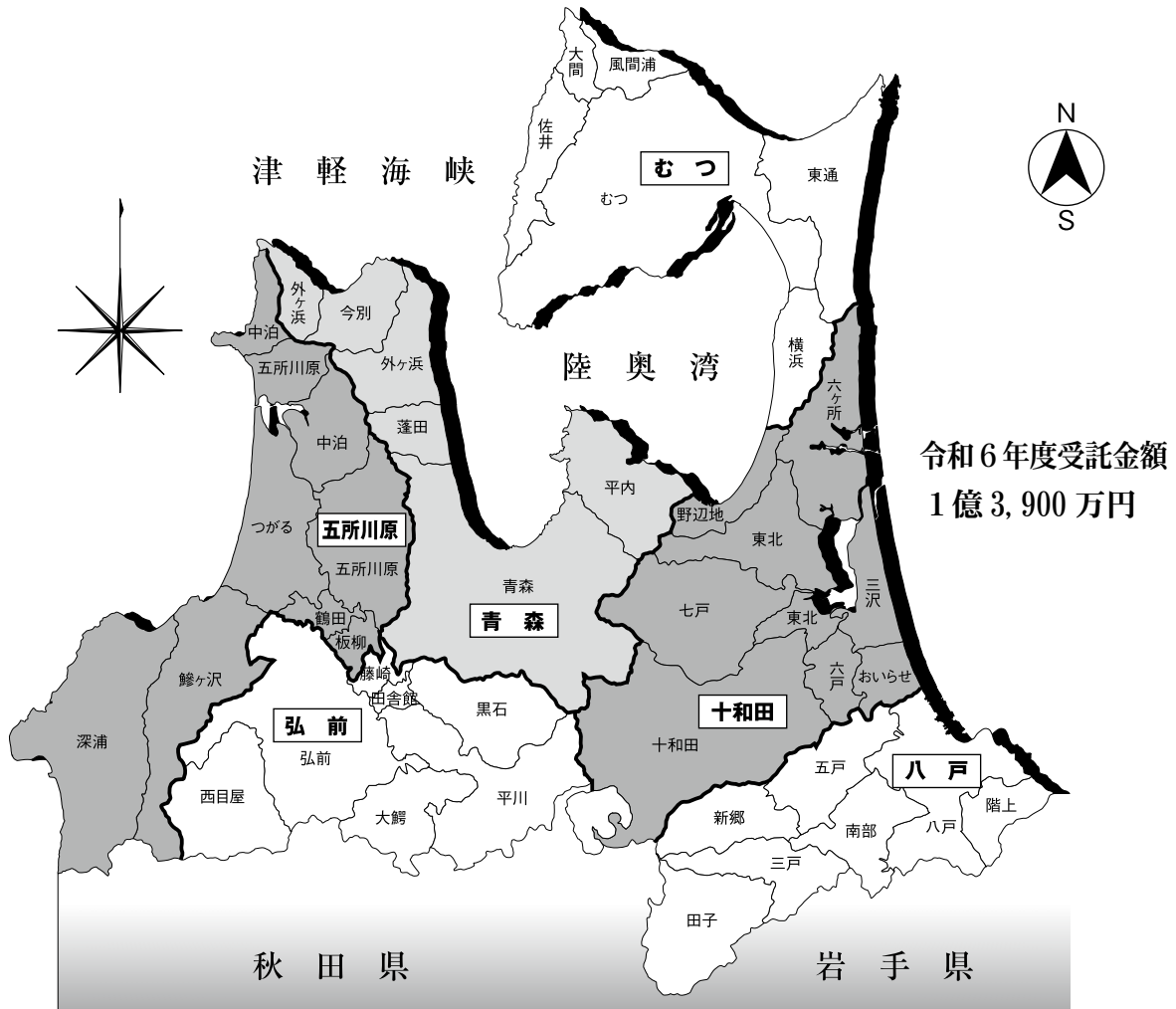
土地境界や公共嘱託登記に関する知識の普及活動(研修会)は、令和7年6月20日に行いました。第1部は「狭あい道路はいま動くが正解～国の考え方と各地の取組事例」の演題で国土交通省住宅

局市街地建築課課長補佐中世古英昭氏に講演いただきました。第2部として「こうすれば進む、現場が語る狭あい道路解消のリアル」の演題で全国土地家屋調査士政治連盟副会長早川正敏氏に講演いただきました。参加者は、官公署職員35名、土地家屋調査士30名、一般1名、合計66名でした。狭あい道路について青森県内では、あまり理解が進んでいないことから、令和7年4月24日に当協会顧問である県議会議員とともに勉強会を行いました。また、同年5月2日に、弘前市議会議員向けに勉強会を行いました。同年6月4日に八戸市職員に対して登記測量や当協会が行っている公益事業についての研修会を行いました。

基準点検測量事業については、八戸市内丸・売市地区において、19点の街区基準点と既設基準点をVRS観測で点検を行いました。

官公署未登記建物の建物表題嘱託登記業務においては、権利の明確化に寄与する目的として、弘前市立石川小中学校校舎及び青森港管理所倉庫の2棟の建物表題登記を行いました。

これからも、土地の筆界に関わる専門家として、公共用地の法的安定と公益事業を積極的に行い、当協会発展の為に尽力いたします。社員一同更なる研鑽と技術の習得に努め、信頼に応えて参りますので、当協会を活用賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



公共用財産の調査・測量・登記の専門家集団
青森県公共嘱託登記土地家屋調査士協会

TEL 017 (777) 3060

FAX 017 (762) 7454

URL <http://www.aomori-koushoku.or.jp/>
 E-mail aomori-koushoku@isis.ocn.ne.jp



新年の ごあいさつ

青森県青年土地家屋調査士会

会長 小林 一馬



新年、明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年の9月に行われた定時総会で、山野内誠前会長からバトンを引き継ぎ、青森県青年土地家屋調査士会第12期、8代目会長を務めさせていただくことになりました、弘前支部の小林一馬です。

昨年は津軽地方を中心に近年まれに見る大雪に見舞われ、私の住む弘前市でも観測開始以来の最深積雪160cmを記録しました。青森県青年土地家屋調査士会は会員相互の親睦を深め、帰属意識を高めることをモットーに活動をしており、毎年1月に新年会を開催しているところですが、急激な積雪の増加により、県内各地で除排雪や交通の障害が多発したため、やむなく新年会を中止する事となってしまいました。

しかしながら、雪が溶け始めた4月には中止となった新年会の代わりとなる親睦会を開催することができ、5月には弘前支部の広報活動である田舎館村の田んぼアートのボランティア活動に

参加し、6月には研修会を開催するなど、例年通りの活動を行うことができ、夜にはお酒を飲みながらおおいに親睦を深める事が出来ました。

本年も昨年同様に、会員の皆さんが親睦を深められるよう青年調査士会ならではの活動を行い、夜にはお酒を嗜みながら楽しい時間を共有していければ良いなと思っています。

また、本年は東北の青年調査士会が毎年持ち回りで行っている球技交流会が、ここ青森県で開催されることとなっております。私自身、これまで他県で開催された球技交流会に参加したり、参加できなかった年は、参加された会員からのお話を聞くと、色々と思いを凝らしており、準備等、非常に大変だったろうなと感じております。我々青森県青年土地家屋調査士会も執行部の皆さんや会員の皆さんの協力のもと、盛大に開催できるよう準備をしていきたいと思っています。

最後になりましたが、皆さまとご家族、そしてスタッフの方々のご健勝とご活躍を祈念致しまして新年のご挨拶とさせていただきます。

令和7年度 青森県青年土地家屋調査士会 活動報告

報告 青森青調会副会長 島根 渚

● R6.12.7 青森青調会発足10周年記念式典・祝賀会

前回の会報で紹介しましたが、青調会は発足10周年を迎えることが出来ました。

式典、祝賀会の準備や当日の進行を通して、青調会の結束力の強さを感じましたので、20周年に向けて、さらなる飛躍と発展を目指していきます。

● R7.4.12 親睦会、10周年記念式典慰労会

八戸市においてボウリング大会を行い、親睦を深めました。

その後は10周年記念式典の慰労会を行い、式典の成功を喜び、互いに労いました。



【慰労会のようす】

R7.5.22 田んぼアートお手伝い

前年に引き続き広報活動と弘前支部との交流を兼ねて田舎館村の田んぼアートのお手伝いをしてきました。ハードな作業ですが充実感に溢れた時間となりました。本年も継続してお手伝いをしていきたいと思っています。



田んぼアート【集合写真】

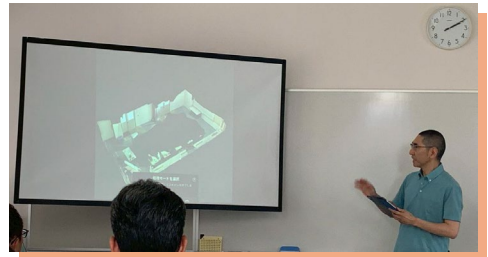


【転んだ女と長靴破けた男】

泥にまみれてよ…

R7.6.28 研修会

五所川原市において研修会を行いました。前半は工藤傑会員が講師となり、iPhoneによるLiDARスキャナを使った建物計測について研修を行い、後半は松下宏伸会員が講師となり、報酬額についての研修を行いました。18名と多くの会員が参加し、活発に意見が交わされとても刺激のある研修となりました。



研修会 講師【工藤 傑 会員】

R7.9.6 定時総会



会長【バトンタッチ】

弘前市において令和7年度定時総会を行いました。角野太会員が議長に選任され、滞りなく無事に閉会しました。閉会後には新たに選任された小林一馬会長より2期会長を務めてくださった山野内誠前会長に、感謝とお疲れさまの気持ちを込めてフラワーボックスが贈られました。総会後は鍛冶町に場所を移し、三次会までおおいに盛り上がりしました。



優勝商品「杭つくバー」をゲット！
【和田宗之会員】

R7.11.15 東北地区青調会交流会（秋田県）

秋田市で開催された東北地区青調会交流会に参加してきました。今回の競技は「ボウリング」でしたが、結果は青森青調会の和田宗之会員が優勝、坂本瞭太会員が準優勝を飾りました！青森青調会はこれまでどの競技でも上位に入ることが無かったので快挙でした！！夜の懇親会でも普段交流することの少ない他県の皆様と様々な話をする事ができ、とても楽しく有意義な交流会でした。

R7.11.22 宮城青調会研修会

仙台市で宮城青調会の研修会が開催され、青森からは松下会員・野中会員・大柳会員が参加しました。講師はドロガーの開発にも携わっておられた茨城会の高島和宏先生で、午前はドロガー実機を使ってのフィールドワーク、午後はGNSSの基礎からの座学と、非常にわかりやすく実のある研修でした。



ドロガー研修 講師
【高島 和宏 先生(茨城会)】

前年度は青森青調会発足10周年記念式典という大きな行事もありましたが、今年度は研修・広報・親睦、他会との交流等、例年通り活動することが出来ております。本年も多くの交流の機会をつくり、会員同士、他会との親睦を深めていきたいと思っております。

青調会は土地家屋調査士登録後10年以内の方であればどなたでもご入会可能ですので、青調会に少しでもご興味のある方は是非お近くの青調会会員にお声掛けください。まずはオブザーバーとしての参加も可能です。よろしく願いいたします。

年おとこ
年おんな

午年

72

継続は力なり

小林 昭雄
(弘前支部)

干支の午年の会員に寄稿文書が通知されたので、72年を思い返して分岐点を探ってみました。

日調連の役務も一通り終わりこれから一息つけるな～と思っていた頃、ドライバーが重くて持っていられなくなった。加齢から来る筋肉の衰えと糖尿病の合併症かとも思った。思えば若いときから暴飲暴食で、そのせいで糖尿病を患い、今ではインスリン投与も不可欠の状態になっている。あまり長生きは出来ないでしょう。ただ父が86歳で亡くなっているので親父だけは追いつきたいな～と思っているが、ゴルフのドライバーショットも飛ばなくなり、歩くのにも膝が痛く気にかかる。

そんな還暦を迎えた頃、このままではイカンな～と思い体力の維持向上への取組を始める事にした。スポーツジムに通い、水泳・筋トレ・ウォーキングと一般の体力強化に取り組んだ。汗を流すのはいい、一通り終わると気分が癒やされる。でも膝の痛みは消えないので病院へ行ってみた。診断は加齢から来るものだそうで、ストレッチしてみますか？と言われた。ジムに通っているし通院治療でスト

レッチしなくても自分で出来るのではないかと思断った。ジム通いが1年程過ぎて気づくと、水泳は少し寒くて殆どやってなかった。筋トレも疲れて続かない。1週間に3、4回の冬場の駐車場が満車になって帰宅したりした。

もっと簡単に軽いトレーニングが出来ないかな～と考えたら、自宅で出来るジャンプと、スポーツジム使用のランニングマシンを購入し、雨の日でも雪の日でも挑戦する事にした。毎日50回のスクワットと50回の腕立て伏せ、そして30分のウォーキングを始めた。30分のウォーキングはとても身体に良いためネットにも載っていたので気軽に取り組み始めた。最初は回数も稼げなかったけど今はこの回数と時間を殆ど毎日実施している。おかげで膝の痛みはない。

私の座右の銘は【継続は力なり】で、馬鹿でも不得手でも同じ事を続けて繰り返していれば、狙ったマトをぶち破ったり目的に近づけたりするだろうと思って心に留めている。「下手な鉄砲も数打ちゃ当たる」で知恵も才能も無い自分には、いい励ましになって応援してくれている。



超人に



澤橋 和男
(十和田支部)

私は1966年生まれの60歳。干支は丙午（ひのえうま）で、迷信によりその年は出生率が低く、1966年の特殊出生率は1.58%で、前年比25%減だったそうです。だから私を含め丙午生まれの人は、ある意味希少価値があると思っています。

19世紀のドイツの哲学者ニーチェは、既成の価値観に左右されず、自分の意志で生きることのできる人間（超人）であれと説いています。私は今までそのように生きてきました。これにより多くの失敗をし、周囲の方々に多大なご迷惑をお掛けしました。とりわけ赤平裕

記、小笠原陽の両氏にはこの場をお借りしてお詫び申し上げます。

これらの反省を踏まえ、これからの私の人生は、超人をさらに昇華させ「超人」になりたいと思っています。たった一度きりの人生です。後悔ないようにこれからもやりたい事は全てやり、大いに失敗したいと思います。失敗に乞うご期待を。

最後に今年一年が会員及び法務局職員の皆様にとって素敵な一年となりますようにご祈念申し上げます。



48

旅の思い出



外崎 一
(弘前支部)

春と秋に東北道を利用して1泊2日の旅行をしている。

平成30年4月には那須高原に行く旅を計画した。朝早く弘前を出発して東北道を走り、午後には那須高原に到着して買い物をした。その後クラシックカー博物館とオルゴール美術館を見学し、少し北上して福島県白河市に宿泊した。

次の日は中尊寺金色堂と毛越寺を見学して帰路に着いた。毛越寺の池はとても荘厳だった。

同年9月は仙台-松島の旅と称して仙台市内を観光し、その後車で約40分東に向かい、松島町へ到着して遊覧船に乗った。松島は観光スポットが集約されていて歩いて巡れるので、とても便利だった。

次の日は国道をひたすら北上し、遠野ふるさと村と物語の館を見学して帰路についた。遠野は町全体がどこか懐かしい感じがした。

平成31年5月は猪苗代湖-会津若松の旅で1日目は猪苗代湖畔の野口英世記念館を見学して会津若松市に宿泊し、2日目は鶴ヶ城を見学した。鶴ヶ城は内部が博物館になっていて歴史を学ぶ

ことができた。

同年9月は蔵王-山寺の旅で1日目はカーブが多い山道の蔵王エコーラインを通して山形市に到着し、霞城公園を観光後どんどん焼を食べて山形市内に宿泊した。どんだん焼とはお好み焼きのような味の地方フードで、2本食べて満腹になった。

次の日は山寺1015段を登り降りしたあと芭蕉記念館を見学した。

その後はコロナ禍で旅行をしばらく自粛していたが、令和5年4月に米沢-天童の旅を計画して米沢城址を観光した。

東北各地を観光して弘前公園の広大さと弘前城が現存天守閣であることの貴重さを認識する。旅の途中で土地家屋調査士事務所看板を見かけるとなんとなくうれしく思ったりする。

今度は日本海方面を旅行したいと思う。

48

年女2026



高島 奈美
(弘前支部)

人生4周目の午年、年女高島です。

40代もあと残りわずか。

私がアラフィフなんて自分でも信じられません。それでも今までで一番幸せを感じることができています、年とりました…。

仕事の習得が遅い私はこれまでもがき苦しみ、がむしゃらに突っ走ってきました。

それでも父であり、同じ土地家屋調査士でもある高山や家族に支えられつつ、その結果、私でもご指名してくださる依頼者様に恵まれるようになり感謝しかありません。

年女2026はマイペースを保ちつつも人との繋がりをより一層大切に。また、臆せず挑戦をし続ける年にしたいです。

48

午年の節目に、
心はフォーエバーヤング大村 卓也
(八戸支部)

午年の年男を迎えるにあたり、これまで支えていただいた皆さまへの感謝を胸に、土地家屋調査士としての歩みをさらに深めたいと思っています。

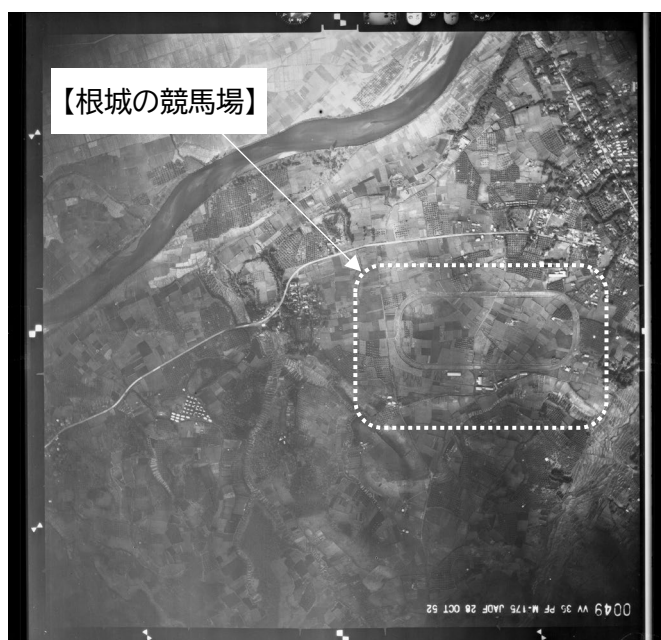
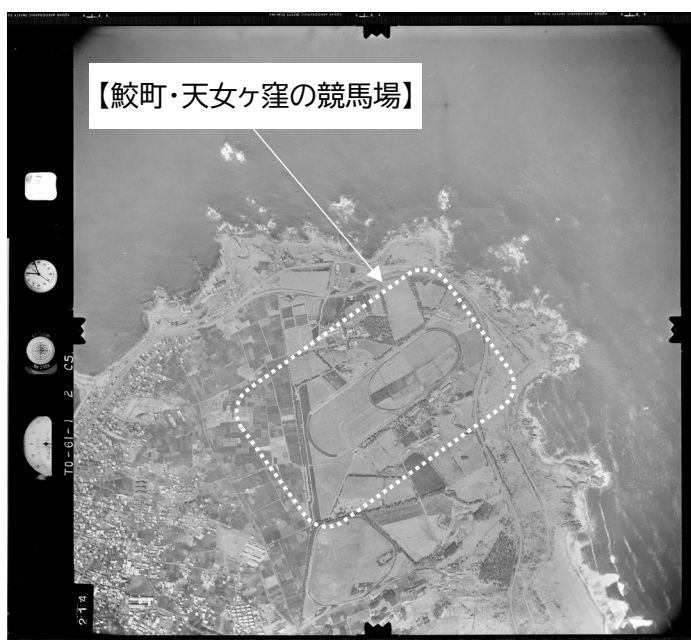
最近ドラマ「ロイヤルファミリー」を楽しみにしつつ、趣味の競馬にも相変わらず熱を入れています。これは早見和真の小説を原作とした、ワンマン社長で馬主の山王耕造と、その一族に付き添い続けた秘書の栗須栄治の視点より、20年にわたる継承と克服の物語を描いています。

競馬といえば、八戸にかつて競馬場がありました。1909年(明治42年)に鮫町・天女ヶ窪の放牧地(現在の鮫町小舟渡平付近)が馬場として整備され、1910年には第1回競馬が開かれたそうです。その後1927年(昭和2年)には根城地域へ移転し、1周1,600メートルの本格的な競馬場が造られ、レースが定期的に行われていました。戦後しばらく再開された時期もありましたが、最終的には昭和29年に幕を閉じています。いまは住宅地に姿を

変えていて、その面影をたどることは難しくなりましたが、コースの名残が地図の曲線に残っていると聞くと、土地には歴史が刻まれているという事実をあらためて実感します。

私たち調査士の仕事も、地道な積み重ねの上に信頼が育つ点で、先ほどのドラマの20年の物語とどこか通じるものがあります。土地には過去から現在、そして未来へと続く営みが宿っています。それを正確に読み取り、次の世代へつなぐ役割を担う存在として、これからも誠実に向き合っていきたいと思っています。

年男という節目にあたり、午年らしく前へと進む気持ちを忘れず、基本業務を丁寧に行うことはもちろん、最新の技術や制度の変化にも柔軟に対応し、依頼者や地域の方々に安心して頼っていただける存在を目指してまいります。好きな競馬にちなんで言えば「地力を蓄えつつ、ここぞという場面でしっかり伸びる一年」にしたいと思いますので、どうぞ今後ともよろしく願いいたします。



36

馬が繋ぐ人との縁
人が繋ぐ馬との縁島根 渚
(青森支部)

明けましておめでとうございます。

早いもので登録をしてから9年目となりました。登録した時は右も左もわからず緊張の日々でしたが八戸の先輩方には忙しいにも関わらず沢山ご指導を頂き今でも感謝しております。複数の先輩方から勉強させて頂きましたので、同じ調査士の仕事ですが、様々な考え方があることを知りました。その経験が現在も自分の礎となり、仕事に取り組む上で自分の考えを持つことを心がけています。

今では緊張することもほとんど無くなり、肩の力は抜けましたが、それが油断にならぬように気をつけなければと思っています。自分にとっては数ある仕事のうちの一つですが、依頼者や関係者にとっては大切な不動産ですので、一つひとつの仕事に真摯に取り組んでいきます。

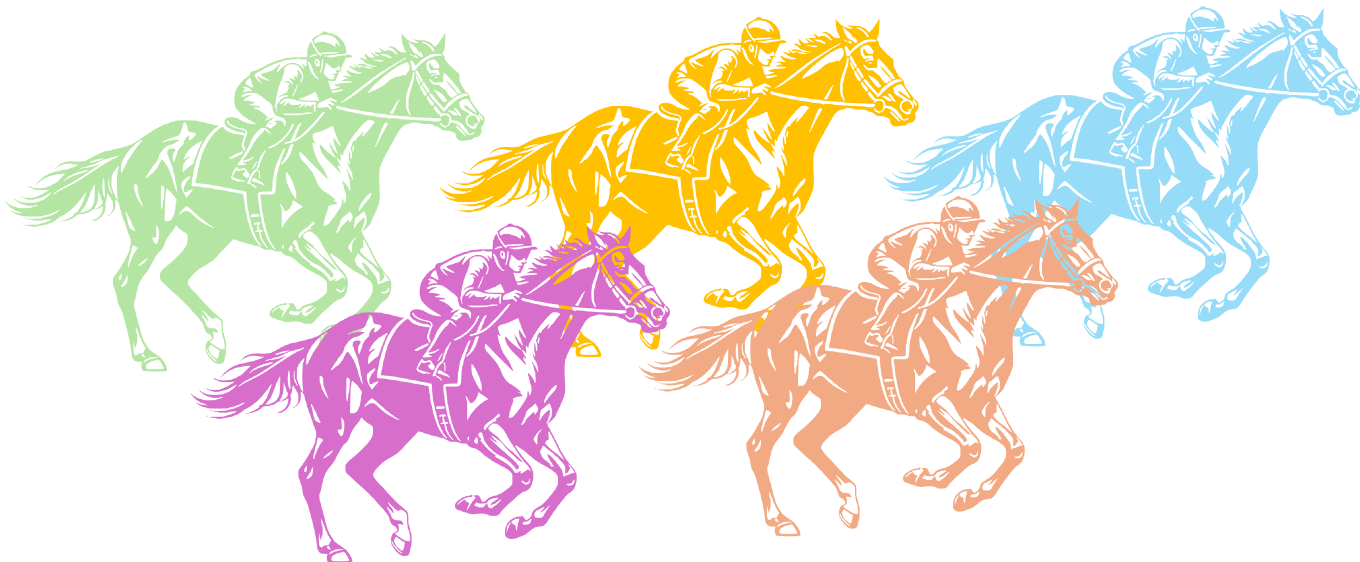
ところで今年は午年ですが、偶然にも私は馬が好きで年に数回乗馬をしたり、牧場を訪れたり競馬場にも足を運びます。特に魅了されるのは、競

馬の最後の直線で馬が首を上下に深く動かし、また騎手もそのタイミングに合わせて前傾姿勢で手綱を動かし前へ力強く推進する姿です。ゴールに向かって必死に走る姿は、たとえ勝利出来なくても美しく毎回胸が熱くなります。

また、最も感動する場面は、馬が繋ぐ人との縁、人が繋ぐ馬との縁を感じる勝利を目にした時です。2025年の宝塚記念は久々にそのような馬が勝利しました。生産者、育成牧場、厩舎関係者、騎手、馬主、そしてファン。数多くの人間を一つに繋いだ一頭の馬が織りなすドラマに、目頭が熱くなりました。

会報が発行される時には結果が出ているのでしょうが、年末の有馬記念も再びその馬の勝利を願っています。

最後になりますが、この仕事をしていると沢山の人に出会う機会があります。これからは人との縁をより意識し大切にしていきたいと思います。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



36

私の生活、変わりました！

坂本 瞭太
(むつ支部)

今年で36歳になります。平成2年の午年生まれのむつ支部所属、坂本瞭太です。

私が調査士登録したのは平成31年の4月なので、今年で満7年土地家屋調査士として活動してきたこととなります。

登録してからの調査士業務についても学ばなければならない業務が多く、悪戦苦闘しながらもなんとか今日まで無事に過ごせています。

そんなほどほどに忙しくも平穏な日常を送っていたところ、今年度からむつ支部の理事として青森県会の会務運営に携わることとなりました。

むつ支部の人数の少なさ故、想像していたよりも早く回ってきてしまった役ではありますが、多くの先輩方に助けていただきながらなんとか今年度を終えられそうです。

まだまだ勉強することの多い調査士業務をこなしながら、新しく理事としての業務に対応することで、自由な時間が減ったり責任からプレッシャーを感じたりすることもあります。今まで他の会員が対応していただいた業務であると思うと、先人への感謝と尊敬の念を強く感じました。

理事が大変でしたという話だけだと、今後自分の代わりに理事となっていただけの方々の意欲を削ぎかねないので、個人的に理事になってよかった点を挙げるとすると、外出する機会が多くなりました。

自身の地域に根差した土地家屋調査士の業務においては地元である下北半島を出る機会が少なく、個人的な趣味は釣りとPCゲームのため、特別に外出しようという気概もなく、いままでの日常は自分一人で成立することばかりに時間を費やしてきましたが、理事として部会や理事会、県外での行事への参加など、今年度の活動量は間違いなく今まで生きてきた中で一番でした。

この原稿を書いている11月の予定を紹介すると、北海道・東北ブロック交流会懇親会への出席のために函館へ、理事会出席のため青森市へ、東北ブロック協議会主催の新人役員研修として仙台市へ、そして、青調会の交流会として秋田市で開催されるボウリング大会に出席するという予定が入っており、生まれてこの方、引きこもり万歳生活を続けてきた自分としてはあまりにも異常な日々を過ごしております。そして、このような無理やり外出する機会を多く経験したことで、最近では追加でもう一泊して旅行を楽しむ余裕が出てきました。

県内の主要地域では好きなラーメン屋をいくつかメモするようになりました。某所では海鮮を限界まで食べて贅沢の限りを尽くしました。青森県内の有名な観光地はかなりの数を見て回る事ができましたし、旅先で使用するために下北では使わないモバイルsuicaも登録しました。最近では会務以外での県外旅行にも興味を持ち始めています。

また、某所で食べたラム肉が驚くほど臭かったり、長時間の車移動を舐めた結果疲れ過ぎて観光を断念したり、ホルモンを食べ過ぎて歯を痛めて旅行中の食事を断念したり、予約したホテルが遠すぎて解散後1時間歩いて帰り革靴のゴム底が剥がれて買い替えたこともありました。

これらの経験したことは理事になったからこそ体験することができた素晴らしい体験であり、自分の人生観が広がる良い機会をいただいたと確信しております。

このような貴重な体験を少しでも良いと感じた方は、ぜひ次回改選の際は積極的に県会理事として立候補していただくと期待しておりますので、皆様何卒宜しくお願い致します。

HAPPY NEW BABY!!

● 福土 蔵（弘前支部）

令和7年11月1日で1歳となりました。前年いきなり2児の父となりそれから1年余り、日々の業務と育児に追われ、慌ただしい毎日を送っております。

最近は自分の体力の無さに困り果て、若い頃にもっと体力づくりをしておけばよかったと思う毎日です。それでも家族が増えた喜びをかみしめてこれからも研鑽を積んでまいりますのでよろしくお願いいたします。



31歳の誕生日のお祝い
3歳の長女・小春（こはる）と
昨年4月に生まれた長男・響（ひびき）

● 佐藤 大真（弘前支部）

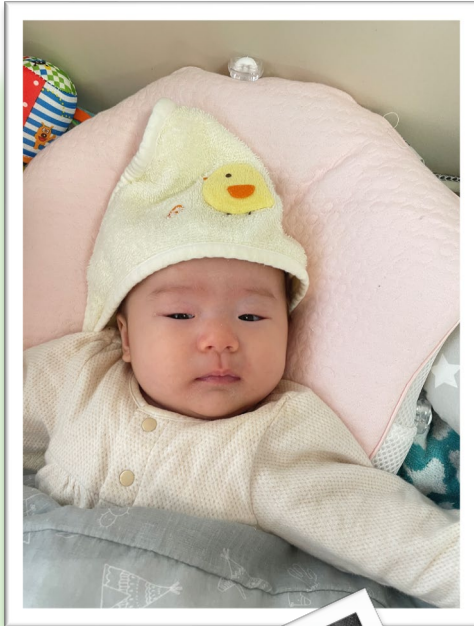
長女が生まれたときは、正直、親になった実感があまり湧かず、初めての育児で毎日寝不足、バタバタ...ととにかく生き延びないと！という感じでした。

でも、二人目が生まれたときは、違いました。

もう一度、大変だけど奇跡のような毎日がやってくると思い、感動してしまっ、支えてくれた家族や周りの方々に感謝の気持ちが溢れてきました。

この場をお借りしてお礼を言わせてください。本当にありがとうございます。

お仕事もがんばります！



● 和田 宗之（十和田支部）

令和6年12月27日和田家に天使が舞い降りました。

和田 菜々心（ななこ） 爆誕！！

第二子（長女）が元気に生まれてきてくれました。

長男の時は何もかもが初めてで、私も嫁も何をしていたのか分からず大変でした。その時の経験もあり、今回は少し余裕があるせいか、とりあえず可愛いと思える毎日です。鼻水やおしっこやうんちまで、全て愛おしく思えます。臭いですが。

最近はつかまり立ちを覚えて、私の服をつかみながら笑ってくれる菜々心ちゃん的笑顔を見るのが一番の幸せです。その勢いでほっぺにチューしようとする、ちゃんと嫌がり、グーパンチが飛んできます。多分、髭が嫌なんだと思います。そうであってほしい。日々成長していく愛娘を見て、より一層父親として仕事や育児を頑張ろうと思います。これからも皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

少しいいので仕事ください！





● **新たな賑やかさと挑戦** 蛭名 昂一郎（十和田支部）

みなさま、こんにちは。

このたび、第二子となる女の子「妃菜乃（ひなの）」が誕生しました。小さな手を握った瞬間、家族の物語がまた一つ広がったようで胸が熱くなりました。

兄になった長男はママの取り合いに奮闘中ですが、戸惑いながらも少しずつ成長中です。（寝る時は相変わらず「パパあっち行って！」ですが…いつか逆になると信じています。）

慌ただしい日々ですが、“今しかない時間”を大切にしながら家族みんなで歩いていきます。引き続き、諸先輩方の温かいご指導をよろしくお願いいたします。



微褐色の つるつるしたお湯
天然温泉かけ流し 湯冷めしないと評判！



あすなろ温泉

入浴料

大人:400円
中学生:200円
小学生以下:無 料

適応症

神経症・筋肉痛・五十肩・運動麻痺・関節のこわばり・うちみ・くじき・慢性消化器病・痔疾・冷え性・病後回復期・疲労回復・健康増進

営業時間

・朝10時～夜9時
・定休日 第一月曜日
（その他 臨時休業あり）



＜お車＞ 国道4号線・七戸町筑田交差点から七戸町方面へ200m
＜電車＞ JR東北新幹線「七戸・十和田駅」より十和田市方面へ車で3分

〒039-2511

青森県上北郡七戸町字筑田川久保54-1

蛭名昂一郎土地家屋調査士事務所 共同経営

TEL: 0176-62-6472

第6回 北海道・東北ブロック交流会 in はこだて

業務・広報部理事 坂本 瞭太

日 時	令和7年10月2日(木)17時30分～		
場 所	北海道函館市大手町5-10 函館国際ホテル 東館2階 鳳凰		
出席者	小笠原 陽	会長	松下 宏伸
	小林 一馬	副会長、業務・広報部長	坂本 瞭太
	小向 直人	財務・社会事業部長	三戸 靖史
	大柳 錦也	研修部長	赤平 裕記
			名譽会長、連合会副会長
			会員

1. 意見交換会・懇親会

北海道及び東北ブロックから集まった調査士会員による意見交換会、懇親会が行われた。

始めに行われた意見交換会には、青森会からは小笠原陽会長と名誉会長の三戸靖史連合会副会長が出席し、会員減少やお金のことについて意見交換がなされた。そして、その後開催された懇親会からは、他の会員たちも参加した。

席次は、受付時のクジ引きで決めたため初参加の自分はもちろん、ベテランの方々も新鮮な出会いがあったものと思われる。

懇親会が始まると、会場となった函館会の磯谷俊仁会長のご挨拶や三戸連合会副会長からのお話し等のあと乾杯。終始和やかな雰囲気なのか、各自隣人や席を移動しながら交流した。

懇親会の終盤に次の交流会開催地についての話題になり、秋田会の根本聡会長が登壇し、次年度は秋田県で開催する旨を宣言されていた。

2. 感想

他会の土地家屋調査士のお話や意見を聞くことができる貴重な機会だった。自分が所属するむつ支部も相当に小さい支部であるが、北海道の小さい支部では片道3時間の業務依頼は違和感なく受託するといったお話や、小さくなった支部の廃止に苦労したお話を聞き、他人事ではないと感じ、広報担当として業界拡大の必要性について考えさせられた。

また、他会の会長のお話を聞く機会もあり、初めて理事になった際の心境を聞いてみたところ、選任された当初から積極的に意見を言える理事であることを意識していたとのこと。自分と比べて責任感や意識の差を明確に感じ、理事としてより有意義な活動を心掛けるよう影響を受けた気がする。



開会のあいさつ
【磯谷俊仁 函館会会長】



地酒について熱く語る
【三戸靖史 連合会副会長】



【和やかな懇親会のようす】



【根本聡 秋田会会長】



函館山

せっかく来たから…

いろんなところを散歩してみました！



大切に守られている【三角点】

記念碑【伊能忠敬 北海道最初の測量地】



測量点の一つとして選ばれた函館山には、1957年にこの記念碑が設置されましたが、道内での最初の測量地点は福島町内であり、函館山山頂ではないことに留意が必要です。
(函館市HPより抜粋)

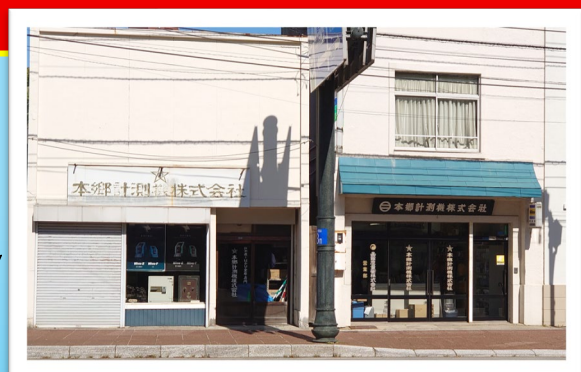


【日時計】



本郷計測機株式会社

十字街駅から徒歩3分ほどにある、明治43年創業の老舗。当初は、さし・ます・はかりの他に、金庫の製造もしていましたが、現在は、計測機器と測量機械の販売と修理を中心にしています。





境界標とマンホール



SAKAMOTO の場合

ラッキーピエロ チャイニーズチキンバーガー

◎中華的なのが特徴！
函館のご当地バーガー



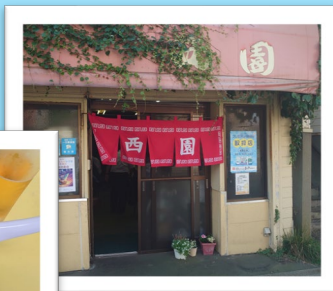
吉田商店 スープカレー

◎唐辛子を自ら砕く、
こだわりのスパイス！



西園(さいえん) 塩ラーメン

◎老舗の町中華！
透き通る
黄金色のスープ



ラーメン専科 笑てん ㄨはここ！

◎スナック街の
ラーメン屋！
朝方まで営業！



㊦から
根本 聡 秋田会会長
小向 直人 青森会部長
大柳 錦也 青森会部長



青森県土地家屋調査士会 第76回 定時総会



日時 令和7年5月23日(金) 13時00分～
 場所 ウエディングプラザアラスカ4階「ダイヤモンド」
 司会 松下 宏伸 (八戸支部)
 議長 山野内 誠 (八戸支部) / 議事録署名者 阿部 正吾、加藤 靖隆 (ともに青森支部)

【報告事項】

- ①令和6年度会務報告
- ②所有者不明土地等対策委員会規程新設の報告

【承認された議案】

- 議案第1号 令和6年度決算報告(監査報告)承認の件
- 議案第2号 青森県土地家屋調査士会会則一部変更(案)審議の件(領収書)
- 議案第3号 青森県土地家屋調査士会会則 別紙入会金及び会費に関する規則の一部改正(案)審議の件(支部交付金の変更)
- ※議案第4号は、議案第3号が承認されたため廃案
- 議案第5号 令和7年度事業計画案審議の件
- 議案第6号 令和7年度予算案審議の件(款内流用執行承認)
- 議案第7号 役員等任期満了に伴う改選の件



【あいさつ】小笠原 陽 会長



【議長】山野内 誠 (八戸支部)



【司会】松下 宏伸 (八戸支部)



【2期目の小笠原 陽 会長と新役員】

青森県工現



【祝辞】草野 謙治 法務局長



【祝辞】安部 正伸 連合会理事(福島会)
(連合会長代理)

【黄綬褒章受章】



【花束贈呈】小林 要蔵 先生（青森支部）

【連合会長表彰を受賞】



越田 誠人（五所川原支部）

【東北ブロック会長表彰を受賞】



山野内 誠（八戸支部）

【青森地方法務局長表彰を受賞】



外崎 一（弘前支部）

【青森会長表彰を受賞された会員のみなさま】



大柳 錦也（青森支部）



工藤 傑（五所川原支部）



小林 一馬（弘前支部）



角田 俊輔（青森支部）

日本土地家屋調査士会連合会

第82回定時総会

(報告) 研修部長 大柳 錦也

日時 令和7年6月17日(火) 13時00分～17時30分

18日(水) 9時00分～12時00分

場所 東京ドームホテル地下1階「天空」

出席者 構成員 三戸 靖史 名誉会長、連合会副会長

代議員 小笠原 陽 会長、小林 一馬 副会長、業務・広報部長

オブザーバー 小向 直人 財務・社会事業部長、大柳 錦也 研修部長、松下 宏伸 研修部理事



【議事】

- 第1号議案 (イ) 令和6年度一般会計収入支出決算報告承認の件
(ロ) 令和6年度特別会計収入支出決算報告承認の件
- 第2号議案 役員選任の件
- 第3号議案 日本土地家屋調査士会連合会会則の一部改正(案)(職務倫理規程関係)並びに土地家屋調査士職務倫理規程の制定並びに土地家屋調査士倫理規程及び土地家屋調査士職務規程の廃止審議の件
- 第4号議案 日本土地家屋調査士会連合会会則の一部改正(案)(会費関係)審議の件
- 第5号議案 土地家屋調査士及び土地家屋調査士法人の登録に係るシステムの再構築審議の件
- 第6号議案 令和7年度事業計画(案)審議の件
- 第7号議案 (イ) 令和7年度一般会計収入支出予算(案)審議の件
(ロ) 令和7年度特別会計収入支出予算(案)審議の件

1日目

- ・連合会会長挨拶、式典の後に議長を選任し議事に入った。
- ・会務報告 各部ごとに会務経過報告及び事業経過報告が行われた。
各単位会より事前に寄せられた20以上の質問・要望に対し各担当者が回答した。
- ・第1号議案 賛成多数により承認された。
- ・第2号議案 会長の立候補者である野中和香成氏(福岡会)、鈴木泰介氏(千葉会)、現職の岡田潤一郎氏(愛媛会)の所信表明がなされ、続いて副会長候補者3名の所信表明の後に投票作業が行われた。
- ・第3号議案 現在の倫理規程と職務規程には類似の規定が多いため、2つを統合し新たに職務倫理規程としたい旨が説明され、審議の結果、賛成多数により承認された。

2日目

- ・第4号議案 物価上昇等もあり、令和9年度から各会から連合会へ納めている連合会会費を、会員は1人当たり、法人は1事務所当たり月額3,250円(ともに1,000円増額)とした旨が説明され、審議の結果、賛成多数により承認された。
- ・第5号議案 調査士情報等の登録事務が煩雑で、労働コストも莫大なため、登録システムを再構築するための予算を計上したい旨が説明された。この説明後、第2号議案について選挙の開票結果が出たとの報告があった。
- ・第2号議案 会長選挙 開票結果 有効投票数151票中、野中氏33票、鈴木氏54票、岡田氏64票という結果となった。有効投票数の過半数を得票した候補がいなかったため、上位得票者2名をもって再投票が行われることとなった。
- ・第5号議案 賛成多数により承認された。
- ・第6号議案 賛成多数により承認された。
- ・第7号議案 賛成多数により承認された。

ここで第2号議案の決選投票の結果が出た旨の報告があった。

- ・第2号議案 会長選挙 決選投票開票結果
有効投票数150票中、鈴木氏60票、岡田氏90票という結果となり、現職の岡田潤一郎氏が再選され、新たな任期も引き続き会長職を務める事となった。
また、それに伴い、岡田新会長の指名副会長である三戸靖史 青森会名誉会長も引き続き連合会副会長に再任されることとなった。

- ・第2号議案 役員等選任の件 結果
連合会会長 岡田 潤一郎 (愛媛会)
指名副会長 三戸 靖史 (青森会)
副会長 大竹 正晃 (神奈川会)
副会長 北村 秀実 (滋賀会)
副会長 杉山 浩志 (山口会)

理事、監事については選考候補者名簿記載の会員に加え、指名理事として高知会の岡林友紀会員が選任された。

- ・会長選挙の結果をもって、日本土地家屋調査士会連合会第82回定時総会は閉会となった。

感想

2年振りの参加となった連合会定時総会。今回の重要案件としては、やはり連合会会費の値上げの件になるだろうと思い、特に注目していたところ、千葉正和財務部長(岩手会)が5パターンの財政シミュレーションを用いて丁寧な説明を行い、また、各単位会からの質問・要望についても冷静かつ的確に回答されており、

あえてこういった表現をさせていただきますが、全国の猛者たちも納得せざるを得ない、見事な答弁でありました。

また、もう一つの重要案件である役員改選について、われわれ青森会としては、指名副会長に三戸靖史青森会名誉会長を擁する岡田潤一郎氏を全力で応援するべき立場ではあるものの、三人の所信表明を比較すると、野中氏、鈴木氏の弁も要点を絞り分かりやすいものではあったが、奇しくも内容が似通った印象になってしまい、差別化という意味ではあまりアピールできなかったのではと感じました。比べて岡田氏の弁は現職の強みを生かし、とても力強い所信表明でありました。後に、岡田新会長が裏話として、三戸新副会長から「これまでやった実績については黙っているのではなくもっとアピールすべき」との助言を受け、ご自身の美学を曲げてでも、連合会会長として自らが土地家屋調査士という制度、会員に対し力を尽くしたい、という思いが伝わったのではないかと思います。そして、直接的ではなくても、三戸新副会長の手腕、影響力について改めて感じさせられました。新たな任期も、連合会副会長としてさらなる活躍を期待します。

最後に研修部として、今回の第3号議案(職務倫理規程)、マナブル、土地家屋調査士総合研究所等々、青森会の会員に対して情報の伝達、より良い研修のために自身が学ぶべき事を非常に考えさせられる、とても実のある総会参加となりました。機会があれば、また今年も参加を希望したいですし、未参加の役員にも是非参加していただきたいと思います。



1日目【懇親会】

神田 潤一 先生(衆議院議員青森県第2区)を囲んで
(㊤から松下 宏伸 理事、小笠原 陽 会長、神田 潤一 先生
㊦から大柳 錦也 部長、小向 直人 部長、小林 一馬 副会長)



2日目【祝賀会】

喜びで胸もビールもいっぱい!
三戸 靖史 連合会副会長(上段㊤から2人目)



東北ブロック協議会

第70回定時総会

(報告) 財務・社会事業部長 小向 直人

日時 令和7年7月11日(金) 14時30分～15時30分

12日(土) 9時00分～11時45分

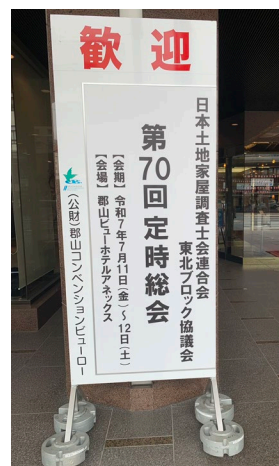
場所 郡山ビューホテルアネックス

出席者 構成員 三戸 靖史 名誉会長(連合会副会長、協議会名誉会長)
小笠原 陽 会長(協議会理事)

代議員 藤谷 大樹 総務部長、小向 直人 財務・社会事業部長、

大柳 錦也 研修部長、小林 一馬 副会長、業務・広報部長

オブザーバー 赤平 裕記 会員(受賞者)



【議案】

第1号議案 令和6年度収支決算報告承認の件

第2号議案 特別会計規程一部改正(案) 審議の件

第3号議案 令和7年度事業計画(案) 審議の件

第4号議案 令和7年度収支予算(案) 審議の件

第5号議案 次期総会開催担当会決定承認の件

第6号議案 役員任期満了に伴う選任の件



1日目 定時総会

第1号議案及び第2号議案については質問もなく賛成多数で承認・可決された。

第3号議案について福島会の澤田法明研修部長より、「1研修会の実施」について具体的な案があるのかと質問があった。理事の土井將照福島会会長より、研修会については役員向けの研修を予定している。中身はこれからだが組織的なものになるとの回答があった。

その他に質問はなく賛成多数で可決された。

第4号議案について山形会の岩井和彦副会長より、支出の部、5諸操出金、財政調整積立金会計操出について、昨年度は10万円の積立に対し今年度は140万円増の150万円となっているが、何故140万円も増額になったかとの質問があった。

事務局長の山市恭弘宮城会副会長より説明があり、例年10万円を財政調整積立金として予算組みしてきたが、10万円では予算的に厳しい状況である。特別研修特別会計を廃止し一般会計に繰り入れる事となるが、各部は予算が足りている状況であるため特別研修特別会計の費用をここに入れたものであると説明があった。

また、岩手会の岩山勝英副会長から財政調整積立金の用途・使用の仕方について質問があり、ブロック会長の松田淳一宮城会会長から、財政調整積立金の説明及びこれまでの用途についての説明があった。

その他に質問はなく賛成多数で可決された。

第5号議案では次期総会の担当を宮城会とする件が承認され、また第6号議案では新ブロック会長として土井將照福島会会長が選任された件が承認された。



新ブロック会長【土井 將照 福島会会長】

2日目 意見交換会

- 連合会会長講話 9時00分～9時45分
- 損害保険の説明 9時45分～10時00分
- 各部担当者会同 10時10分～11時40分

岡田潤一郎連合会会長より就任の挨拶のあと、連合会の分掌についての説明があり、各部の事業についての説明があった。

各部の事業説明の中で、三戸靖史連合会副会長が担当する制度対策本部について、「土地家屋調査士法の改正の「実現」をする。中身は法務局に提出または提供する図面の作成を我々の業務とする。」という説明があった。また、これまでも行ってきたが、固定資産税の納税者情報の開示について新たな切り口で交渉をして下さいと伝えている旨の説明があった。

その後、各部ごとに担当者会同が開催され、主に以下の事項について話し合われた。

総務部

- ・危機管理（コンプライアンス）について
- ・働き方改革（リモートワーク）について
- ・登録システムの再構築について
- ・全国会長会議を分科会方式での開催を検討

業務部

- ・国家座標を利用したの測量図の作成について
- ・報酬額について
- ・調査士カルテマップの活用について
- ・職務上請求のキャッシュレス決済について

研修部

- ・年次研修の未受講者に対する対応について
- ・令和8年度からのブロック新人研修の対応
- ・マナブル活用の周知
- ・特別研修会の受講者増

広報部

- ・会報誌の発行
(アカデミック化・インテリジェンス化)
- ・受験者拡大策
(一案として児童養護施設の子供達への広報)

社会事業部

- ・地図作成の予算拡充について
- ・災害復興について
- ・裁判所に向けた管理不全土地管理について

講話の中で「理事」を「ヒラ理事」という言葉で表現することがあるが、理事も理事会の構成員の一員であり、会則でも会長・副会長・専務・常務・常任理事・理事・監事が役員であるので、お互いに「ヒラ理事」という表現や考え方は止めましょうと伝えたとのお話が心に残っている。

各部担当者会同については、①総務部・財務部、②広報部、③研修部・社会事業部、④ADRの4つのグループに分かれ意見交換が行われた。1時間ほどしか時間がなく、どのグループも時間が足りず活発な意見交換が出来なかった感じであった。



岡田 潤一郎 連合会会長【講話】のようす



【担当者会同】のようす

令和7年度 表彰受賞者



日本土地家屋調査士会連合会長表彰

森下典光 越田誠人
(五所川原支部) (五所川原支部)

仙台法務局長表彰

高山恒則 赤平裕記
(弘前支部) (弘前支部)

日本土地家屋調査士会連合会 東北ブロック協議会長表彰

今優美 山野内誠
(弘前支部) (八戸支部)

青森地方法務局長表彰

須藤健一
(弘前支部)
山内敏史 外崎一
(弘前支部) (弘前支部)

青森県土地家屋調査士会長表彰

大柳錦也 工藤傑
(青森支部) (五所川原支部)
小林一馬 角田俊輔
(弘前支部) (青森支部)

表彰受賞の皆様のごよこびの言葉



日本土地家屋調査士会連合会長表彰を受賞して



森下 典光
(五所川原支部)

異業種から、昭和63年1月に土地家屋調査士として登録し、補助者の経験もなく、37年間この士業に携われたことに感謝しております。

開業当初は測量の経験が無かったため、専ら家屋調査士でしたが、測量業務も業としなければと思い、国土地理院OB先生による10日間の自主測量研修に数回参加することにより、トータルステーションを導入し、測量業務にも取り組むようになりました。

開業当初は作図は手作業だったものが、機械化が進み高齢者でも業務が可能となりました。

残り少ない人生ですが、受賞にあ

たり体力の続く限り、公正な立場で業務を行い、地域の方より信頼される土地家屋調査士として精進したいと思っております。

受賞にあたり、これまでご指導いただいた同業の皆様には感謝いたしております。



【小林光義先生[Ⓔ]との岩木山登山道測量】



日本土地家屋調査士会連合会長表彰を受賞して



越田 誠人
(五所川原支部)

この度は、日本土地家屋調査士会連合会長賞を表彰していただき、身に余る光栄と感じております。私にとりましてこの賞はこれまでの26年余りを改めて振り返る貴重な機会となりました。

開業して長い年月の間に多くの方々と出会いました。特に先輩、同輩

や後輩の皆様に恵まれ、さまざまな支援をいただき心より感謝申し上げます。これからも今一度初心に帰って日々精進して参ります。誠にありがとうございました。



仙台北務局長表彰を受賞して



赤平 裕記
(弘前支部)

式典会場へ向かうため、郡山のホテルのエレベーターに乗り込むと、何か見覚えのある人物が…そうだ、以前、青森地方法務局長であった小松淳也局長だ！お聞きすると今は福島地方法務局長で、今日は仙台北務局長の代理でいらっしやったと聞き、「今日私、頂くんですよ！嬉しい！」と話した記憶がある。なんとも言えぬ縁を感じた。

その式典のあとの懇親会でも縁が。余興のマジックショーが始まったが、マジシャンは空先拓海（そらさきたくみ）さんと言う方で、なんとお母様が岡山会の土地家屋調査士 金関圭子先生！「先生、ご無沙汰です！先生が日調連の広報部長をされていた際、広報委員としてお世話になりました！覚えていますかね？元気です

か？」とあの頃を走馬灯のように思いながらショーを堪能！「人体切断」を初めて生で見て、酔いが一気に覚めるほどビックリ仰天したものだ。

話は変わり、開業し、そして役員を務めるごとに色々な人に出逢い、良いことも嫌なことも色々体験した。

若いうちは嫌なことを言われると真に受けすぎて傷ついたり、腹いせに更にひどいことを言ったりしたことも正直あったが、年を増すごとにだんだん聞き流して、「暖簾に腕おし」のことが増えた気がする。

悪評や悪口は聞き流し、いいことは「馬の耳に念仏」にはならぬよう気をつけながら、これからも過ごしていきたい。



小松局長、ありがとうございました。



センセイ、ムスコサン、スバラシイ！



東北ブロック協議会長表彰を受賞して



今 優美
(弘前支部)

この度は、東北ブロック協議会長表彰をいただき誠にありがとうございました。

登録してから25年、たくさんの方に支えていただき、これまであっという間でした。

お客様から『助かったよー』という言葉をいただいたときは、がんばって良かったと心から思います。また、

役員をされている方々には日頃よりご尽力いただき、この場をお借りして感謝申し上げます。

引退まで残り短くなってまいりましたが、体に気を付けて無理せずに頑張ります。



東北ブロック協議会長表彰を受賞して



山野内 誠
(八戸支部)

この度、東北ブロック協議会長表彰を賜り、心より光栄に思います。日頃より皆様のご支援、ご指導をいただきながら業務に励んできたことが、今回の受賞につながったと深く感謝しております。

調査士として登録してから18年、業務に携わってから20年以上になりますが、父の不要になった三角スケールで、どのように遊ぼうか考えていた小学一年生の頃が懐かしく思えます。

受賞した昨年は年男(へび)でありましたが、地を這い、時代の流れにうまくからまることができるよう、そんな人間になればと思っています。

最後に、このような素晴らしい栄誉をいただきましたことを励みに、より一層精進してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしく願いいたします。



青森地方法務局長表彰を受賞して



外崎 一
(弘前支部)

このたびは青森地方法務局長表彰を受賞してとてもうれしくおもいます。

振り返ると私は平成17年に登録していままで20年間業務に励んできました。

入会時から現在に至るまでさまざま業務に携わってきたことを思い

起こすと、とても感慨深く思われます。この受賞はいろいろな人に支えられての受賞と思います。みなさまに心から感謝しています。

今後も地道にコツコツと業務に励み、社会貢献できるよう頑張っていきたいです。



青森県土地家屋調査士会長表彰を受賞して



大柳 錦也
(青森支部)

このたびは、青森県土地家屋調査士会長表彰を頂戴し、心より感謝申し上げます。

賞状をお渡しいただいた小笠原会長におかれましては、過去に十和田支部でのオンライン申請の研修会に私が参加し、非常に分かりやすい講義を行っていただいた事でオンライン申請ができるようになった経緯があり、私の中で勝手に師匠と仰いでおりました。その会長からの受賞という事で、私にとっては本当に感慨深いものとなりました。

私が調査士登録したのは平成20年なのですが、当初は土地家屋調査士とプロレスラーという、今でいうところの二刀流でやっておりまして、平日は調査士業務、土日は試合というスタイルで続けてまいりました。

試合ではもちろんケガはつきもので、松葉杖をつきながらトータルステーションを設置したり、頭にネッ

ト包帯を巻いて隣地所有者の立会い時に心配されたりした事も、今となっては良い思い出です。

家業と好きな事を両方やってこられたのも、先代からの事務所のスタッフ、みちのくプロレス様のご理解、ご協力あつてのことだと思っております。

プロレスを引退してからは、支部、そして県会の役員を務める事となり、諸先輩方が会員のためにご尽力されてきた偉大さを実感しております。

キャリアとしては17年になりますが、私自身まだまだだと思っております。日常業務の現場も1件として同じ案件は無く、法令どおり、計算どおりにいかない事も多く、調査士としてどうすべきかを思考し、試行し続ける事を忘れず、常に感謝と反省の気持ちを持って、より一層努力してまいりたいと思います。ありがとうございました。



青森県土地家屋調査士会長表彰を受賞して



工藤 傑
(五所川原支部)

登録したての頃は、この表彰をいただけるまで仕事が続けられるのが一つの目標でした。まずは一安心するとともに、支えてくださった皆様に感謝を申し上げます。

正直なところ、私は個人業務の受託件数が非常に少なく、土地家屋調査士制度への貢献という意味では、

公嘱協会での法務局地図作成事業を通じてしかできていないと思っています。

とはいえ、今後も微力ながら精進してまいりますので、どうぞお力添えくださいますようお願い申し上げます。



青森県土地家屋調査士会長表彰を受賞して



小林 一馬
(弘前支部)

この度、青森県土地家屋調査士会長表彰をいただき、誠にありがとうございます御座いました。

父の背中を追いかけて調査士になり、気が付けば16年が過ぎました。

ここまで長く続けられたのも先

輩・同輩・後輩・家族のおかげです。

この度の受賞を励みに、初心を忘れること無く、より一層精進していこうと思います。



青森県土地家屋調査士会長表彰を受賞して



角田 俊輔
(青森支部)

青森県土地家屋調査士会長表彰に選ばれ栄誉な事と思っています。

2010年に調査士登録をしてから業務を行ってまいりましたが、これまで様々な困り事や相談がありました。依頼者の要望・期待に沿えるよう日々業務を行ってまいりました。しかし、応えられないこともたくさんありました。それでも、前年度まで本会役員の経験、そして役員を通じて他支部の相談できる諸先輩方や仲間とも知り合うことができた事で、一人で悩んでいた事を相談できるようにもなりました。調査士人生の貴重な財産になっています。

今後とも、出来る限り日常にある諸問題の解決の一助となれるよう精進して参りたいと思います。

bcc 株式会社ビービーシー
 おかげさまで導入実績**9,600**以上!
 個人事務所でも、大規模法人でも、多数採用の2in1 Winシリーズ! ANNIVERSARY



業務効率の向上に取り組む
事務所様が増えています。

登記情報取込機能により、
ミスが減りました!

土地家屋調査士の先生

導入件数**3,000**事務所様突破!!

登記情報を自動で取り込み、テキスト化。
所有者一覧・調査報告書・申請書など、あらゆる書類に一括反映!

表示登記申請システム

測量～作図～登記までがこれひとつの土地家屋調査士向けソフト! 書式集に依存せず、直観的な操作で書類作成と管理が非常に簡単です。書面⇄オンライン申請もワンクリックで切り替え可能。調査士報告方式にも対応しました!

●スーパー登記情報

不動産登記情報を**自動で解析・データ化!** 登記簿形式での一覧表示に
とにかくこだわりました!
対象物件の解析結果を登記情報の形式で表にすることで、正確な登記
申請業務に資することを目的にしたシステムです。



デモ動画配信中!



表示登記申請システム オプション機能

●CADシステム

IJCADを組み込んだ土地家屋調査士向けCADソフト! 表示登記申請シ
ステムのオプション機能です。
DWG互換で図面をそのまま読み込んで使えるため、過去の図面資産も
有効活用!
ドローンによる空撮画像も活用できます!



デモ動画配信中!



請求・入金システム

請求～入金・預り・精算処理をソフトが振替伝票を生成し、弥
生会計にデータを出力。
土地・建物・区分建物の計算書も作成可能。
電子帳簿保存法・インボイスにも対応済みです!



オンラインデモ
好評受付中!



御見積やデモンスト
レーションのご依頼
はこちらから

期間限定キャンペーン実施中! 2026年1/30金まで

▲2026年2月よりCADを含む製品の価格を改定します。

タイプA 地図データコンバーター		タイプB 地図データコンバーター		タイプC		タイプD		タイプE	
表示登記 + CAD + 請求入金 申請システム + システム + 土地家屋調査士版		表示登記 + CAD 申請システム + システム		表示登記申請システム		表示登記 + 請求入金 申請システム + 土地家屋調査士版		請求入金 土地家屋調査士版	
一括購入	5年リース	一括購入	5年リース	一括購入	5年リース	一括購入	5年リース	一括購入	
¥488,250	月額¥9,600	¥425,250	月額¥8,300	¥228,900	月額¥4,500	¥291,900	月額¥5,700	¥63,000	

表記はすべてスタンドアロン版の価格です。ネットワーク版をご希望の場合は別途お問い合わせください。全て税抜価格となります。商品の機能や価格は予告なく変更する場合がございます。



令和7年 春の叙勲 瑞宝双光章受章に際して

むつ支部 渡邊 文行

令和7年春の叙勲で調停委員功勞として瑞宝双光章を受章することになりました。民事・家事調停委員として平成16年に任命されて以来、21年間調停員としてむつ簡易裁判所及び青森家庭裁判所むつ出張所にて様々な調停事件に関わらせて頂きました。このような身に余る榮譽を受けることができたのも関係者皆様方のご支援の御蔭であると感謝申し上げます。以下、受章に至るまでの経緯を報告いたします。

1 法令遵守、品行方正の日々

3月下旬の頃、青森地方裁判所から、叙勲の候補であると電話があり、私が勲章を受けるなんて思ってもいないことでしたので、驚きの気持ちで、妻に駆け寄って「大変なことが起きた」と報告いたしました。

暫くして、青森地方裁判所から文書が届き、確認事項などが書かれており、その中に、4月29日までに次のような事が起きたら至急連絡下さいという文書がありました。事故を起こして警察等の取り調べを受けた場合、係争中の有無、不祥事についての報道などが書かれていました。

これは、4月29日までは、法令を遵守し、品行方正な日々を送らなければならないことと判断し、それからは法令遵守、品行方正に努める日々が続きました。車を運転する時も制限速度の厳守に努めました。しかし、普段やりなれないことをするとストレスが溜まるもので、法令遵守、品行方正もほどほどがいいと思いました。(注1)

2 勲章伝達式から天皇陛下拝謁

5月20日、最高裁判所で勲章伝達式、皇居において、天皇陛下の拝謁を賜ることになりました。

服装について、男性はモーニング、女性は色留袖となっていました。当日の朝、宿泊していたホテルに貸衣装の方が来られて、私にはモーニングが渡され着替えしました。妻は着物の着付け、メイクと大がかりなものとなっていました。

衣装代も私と妻では大きな開きがあり、私が主役なのにと思いつつ、世の中こんなものだろうと思いました。

午前中、最高裁判所にて勲章伝達式が行われ、午後から皇居春秋の間にて天皇陛下の拝謁を賜りました。陛下のお言葉のあと、前列の何人かに陛下からお声掛けがありますと宮内庁の職員から説明があり、私は運よく前列にいましたので、ひょっとすると私にお声掛けあるかもしれないと期待しておりました。最初、私の横にいた女性

の受章者にお声掛けされ、いよいよ私の番かと期待と緊張感で待っていましたが、陛下は私の前を素通りされ、前列の最後の方に居た受章者にお声がけされました。お声掛けされた受章者は男性の方で、感極まったのか、大きな声で滔滔とお答えされました。もう少し、簡潔、厳かにお答えされた方がいいのではないか感じた次第でした。

次の機会があれば、今度こそお声掛け頂こう心掛けたいと思います。(注2)

3 家族でのお祝い

伝達式等が終了後、娘が住む埼玉県に移動し、家族でお祝いをしてもらいました。

私は、孫たちを前に「ジジは天皇陛下か

らすごいものをもらった。」などと、盛りに盛って話しました。その甲斐あってか、下の孫は学校の先生に、「俺のジジが天皇陛下からすごいを貰った。」などと話したそうです。また、私は、孫たちの誇りとなっ てしまいました。風船のように膨らんだ孫たちの私に対するイメージが破裂して萎んでしまう時が来るのが恐ろしいです。話を盛り過ぎると、後が大変なことに気が付きました。

注1 個人的な感想です。

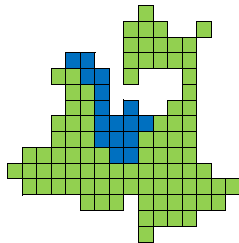
会員の皆様方には法令遵守、品位保持に努めて頂きたい。

注2 個人的な願望です。

次の機会など有るはずがありません。



支部だより



青森支部の活動について

青森支部長 江戸 光輝

① 屋根の雪下ろし奉仕活動

昨年度はじめて青森市社会福祉協議会が主催する当活動に参加しまして、市内の戸建て住宅で屋根の雪下ろしができない世帯を対象に奉仕活動を行いました。活動中は皆で力を合わせ、真冬に良い汗をかきながら頑張りました。きっかけはボランティア活動が土地家屋調査士の広報につながれば良いなということで参加したのですが、実際にやってみると、普段は殆ど一緒に仕事をする機会がない調査士仲間と同じ目的に向かって作業することが会員同士の良い交流となり、そういう意味でも今後も継続して参加していこうと考えております。



ボランティア活動【屋根の雪下ろし】

② 実務研修会

8月に「表示登記における筆界確認情報の指針を踏まえた今後の実務」をメインテーマに、実務直結型の研修会を行いました。今後も我々の業務に役立つ、業務を助けるテーマを見つけて研修会を開催していきます。



【実務研修会のようす】

③ 防災研修

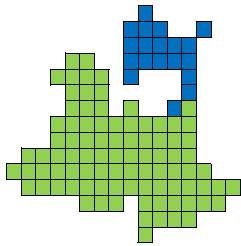
9月に青森県防災教育センターが主催する防災研修に参加しました。最近では激甚災害が頻発しており、我々の身にいつ起こってもおかしくない状況です。こういった実務外ではありますが、普段の生活に関わる内容についても研修やレクリエーションのかたちで行っていきたいと考えております。



【防災研修のようす】

④ バス広告

昨年に引き続き、本年も青森市内を土地家屋調査士ラッピングバスが運行しております。見つけると何か良いことがあるはずだと信じております！



むつ支部の報告

むつ支部長 角野 太

今年度より むつ支部長となりました、角野太と申します。よろしくお願いいたします。

渡邊前支部長におかれましては、長きに渡り支部長をつとめていただき本当に感謝申し上げます。

当支部で支部長が変わるのは数年振りであり、渡邊前支部長の体制で支部活動が行われることに慣れていたため、また支部役員も一気に若返り、私が色々と伝えながら、教えながら、支部運営をしていかななくてはならない状況になり、改めて運

営の難しさ、やることの多さに戸惑っている面もあります。

今年度は4月18日(金)に支部総会および懇親会を開催しました。また年明け年度内には支部研修会を予定しています。

新支部役員2人には、拙い支部長で迷惑をかけることも多々あるかと思いますが、何卒よろしくお願いいたします。

また支部の皆様にも助けてもらいながら、より良い支部活動を展開したいと思います。

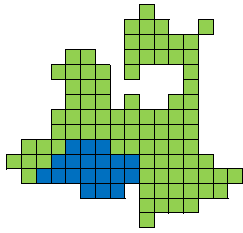


令和7年4月18日【支部総会のようす】



【懇親会のようす】

東奥日報【令和7年5月25日付】



令和7年度 弘前支部活動について

弘前支部長 石黒 正道

田んぼアート 慎重に「下書き」

田舎館村役場に隣接する田んぼアート第1会場の水田で22日、村職員による「下書き」の測量作業が始まった。約8100本のアシを田んぼに挿して映画「風と共に去りぬ」「ローマの休日」や村の「当地キャラクター」「いち姫」の図柄をかたどり、苗を植える目印にする。

この日は県土地家屋調査士会弘前支部（石黒正道支部長）の会員も参加し、計約45人が4〜6人測量により、田んぼアートの下書きを行う村職員ら

田舎館

田舎館村役場に隣接する田んぼアート第1会場の水田で22日、村職員による「下書き」の測量作業が始まった。約8100本のアシを田んぼに挿して映画「風と共に去りぬ」「ローマの休日」や村の「当地キャラクター」「いち姫」の図柄をかたどり、苗を植える目印にする。

この日は県土地家屋調査士会弘前支部（石黒正道支部長）の会員も参加し、計約45人が4〜6人測量により、田んぼアートの下書きを行う村職員ら

精度の鍵握る測量作業

田舎館村役場に隣接する田んぼアート第1会場の水田で22日、村職員による「下書き」の測量作業が始まった。約8100本のアシを田んぼに挿して映画「風と共に去りぬ」「ローマの休日」や村の「当地キャラクター」「いち姫」の図柄をかたどり、苗を植える目印にする。

この日は県土地家屋調査士会弘前支部（石黒正道支部長）の会員も参加し、計約45人が4〜6人測量により、田んぼアートの下書きを行う村職員ら

ずつの班に分かれて作業。測量機器で基準点からの角度や距離を測りながら、図柄の設計図に照らし合わせてアシを各ポイントに一本ずつ挿しこんでいった。立てたアシを二メートルテープでつないで色つけの境界をつくる作業も行った。

石黒支部長は「田んぼアートを通して土地家屋調査士にも興味を持ってもらえたらうれしい。完成が楽しみ、村企画観光課の小森好展主査は「下書きがなければ田んぼアートはできない。元祖として精度の高さは譲れないので、頑張つて測量を進めたい作品にしたい」と話していた。

下書きは月末までに終了。6月1日には田んぼアート体験ツアーを予定している。

(野村達)

測量技術活用し「下絵」

県土地家屋調査士会 田舎館田んぼアートに

県土地家屋調査士会が22日、田舎館村の第1田んぼアート会場（役場東側）で測量作業のボランティアを行った。最新機器を使って田んぼアートの「下絵」を描き、30年から、地域貢献と広報活動の一環として、図案に沿って「下絵」の位置を割り出し、田んぼに印を付けるボランティアを申請する。同会は平成

津軽新報【令和7年5月27日付】



令和7年5月22日【ポイント出し作業のようす】

協力して正確な測量を進める土地家屋調査士

今回は、県土地家屋調査士会弘前支部（石黒正道支部長）から10人、県青年土地家屋調査士会（山野内誠会長）から6人が参加した。本年度のチームのうち、展望台から向かって右側の田んぼに描かれる役場庁舎と村応援キャラクター「いち姫」の半分以上に当たる地点1516カ所を担当した。

会員は、現在地から目標までの距離と角度を算出する機器「トータルステーション」と人工衛星からの電波を利用して計測する「GNSS測量機器」を活用。時々雨が降る中、4人1グループで正確な位置を測定し、か

石黒支部長は「田んぼアートを通して、土地家屋調査士に興味を持ってくれたらうれしい。田んぼアートの完成が楽しみです」と期待を込めた。

広報活動の一環として、5月22日田舎館むらおこし推進協議会が実施する、田んぼアートのポイント出し作業に土地家屋調査士刺繍入りブルゾンを着用し支部会員10名と青調会会員6名がボランティアで参加し、当日は東奥日報社、津軽新報社の取材を受け、5月22日陸奥新報ウェブニュース、5月25日東奥日報、5月27日津軽新報に掲載されました。



【田舎館村役場4階 展望デッキにて】

広報活動の一環として毎月第一水曜日の午後に弘前市民生活センターで表示登記無料相談会、黒石市わのまちセンターで毎月第二水曜日午後に土地家屋調査士無料相談を開催しております。広報ひろさき11月号、広報くろいしには「今月の相談案内」に毎月掲載されております。

今回は遠方からの相談者もあり、これからも月2回の開催となりますが続けて行きたいと思いません。

支部研修会は、1回目を7月4日法務局弘前支局大会議室で『最近の法改正について』を開催し、講師として法務局弘前支局第二総括登記官の太田忠光様に講義していただきました。

2回目は令和8年1月16日『G空間情報センター登記所備付地図データの利活用について』、『調査士カルテMAPの登記所備付地図の実装について』を開催予定です。



令和7年5月9日【定時総会の様子】



令和7年7月4日【第1回支部研修会の様子】

【弘前支部の無料相談会の広報】



無料の相談窓口

～ひとりで抱え込まず、まずは相談を～

市民生活センターの相談窓口

市民生活センターでは、暮らしの中で起こるいろいろな困り事・悩み事や契約トラブルなどに関する相談に応じています。一人や家族で抱え込まず、まずは相談してみませんか。

市民生活センター（ヒロロ〈駅前町〉3階、☎ 33-5830、☎ 34-3179）

●土地家屋調査士相談

不動産表示登記、土地・建物の調査・測量などに関する相談に応じます。

毎月第1(水)、午後1時～4時

相談員 青森県土地家屋調査士会弘前支部会員

津 軽 新 報
令和7年（2025年）11月2日（日曜日）

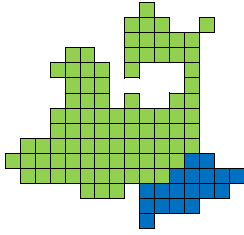
12日土地家屋
無料相談 | 黒石

黒石市は、12日午後1時から市役所のわのまち1階多目的室で土地家屋調査士による無料相談会を開く。

不動産表示登記や土地建物の調査、測量に関する相談に応じる。午後4時まで。予約不要。



11月の日程			
困りごと	10日(月)・25日(火)	9:00~15:00	市民環境課交通生活係
法テラス法律	26日(水)	9:30~12:00	▼困りごと相談は市民環境課交通生活係へ要事前予約 ▼法テラス法律相談は法テラス青森へ要事前予約 ☎050-3383-5552
人権	22日(土)	9:00~15:00	▼人権・行政・土地家屋調査は予約不要
行政	20日(木)	10:00~12:00	▼22日(土)の人権相談は黒石りんごまつり特設会場(スポカルイン黒石)で実施
土地家屋調査	12日(水)	13:00~16:00	



八戸支部の活動について

八戸支部長 林 秀樹

令和7年の支部活動ですが、まず4月25日に総会を開催致しました。

来賓で来ていただいた会長ありがとうございました。



来賓【小笠原陽 会長】



総会後の懇親会は通常開催し、熊谷八戸市長にも参加頂きました。



令和7年4月25日【定時総会のようす】

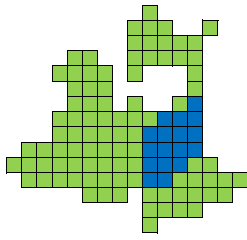


【懇親会のようす】

支部研修については、企画はあったものの実施には至らなかったのは残念でした。今でも研修のお題は募集していますので宜しくお願い致します。

今年度の予算は厳しい事もあり、試行錯誤で会員の皆様にはご迷惑をおかけしましたが、持続可能な会務運営をして会員の皆様のお役に立てるように役員一同頑張っていきます。

今年も会員の皆様にとって素晴らしい1年になりますように御祈念申し上げます。



十和田支部の報告

十和田支部長 新谷 智央

支部長に就任してから2年目を迎えました。

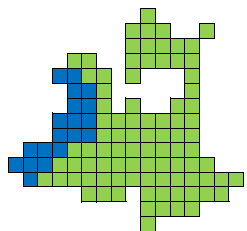
まず初めに、日頃より支部運営にご理解とご協力を賜っております会員の皆様に心より感謝申し上げます。

本年度は特段の支部行事等は実施いたしませんでしたが、今後の支部活動を見据えた体制の見直しを図る1年となりました。新たに、副支部長に野中怜奈氏、事務局に和田宗之氏が選任され、支部役員の若返りを進めることができました。これにより、これまで支えてくださった諸先輩方の経験と、新しい世代の発想・行動力が融合した、より活気ある支部づくりを目指してまいります。

また、7月27日（日）には青森地方法務局十和田支局の船澤支局長からの打診を受け、司法書士会十和田支部と本支部の三者による「相続と遺言に関する講演会・相談会」を実施いたしました。当日は支部会員5名にご協力いただき、地域住民の関心も高く、有意義な活動となりました。この取り組みを今後の支部運営にも活かし、継続的に実施していく所存です。

今後も支部一丸となって地域に根ざした活動を行い、会及び本支部の発展と社会への貢献を目指してまいります。

引き続き、皆様のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



五所川原支部の報告

五所川原支部長 工藤 傑

五所川原支部長の工藤傑です。春の支部総会において再任となりました。ひきつづきよろしくお願ひします。

支部研修会を2月14日に五所川原市民学習情報センターにおいて開催しました。内容は、第1回表示登記研究会の報告を確認し意見交換をするものでした。支部会員全員が参加いたしました。

支部総会を5月2日に和食処「花里」にて開催しました。小笠原会長ご臨席のもと、大きな問題がなく議事は承認され、役員全員が再任する事で終了しました。



令和7年2月14日【支部研修会のようす】

伯父 小林光義先生に聞く!



登山コース 赤倉登山道

ボランティア測量活動

甥 副会長 小林 一馬

昨年5月18日の日曜日、朝起きて何気なく見た新聞(陸奥新報)の一面に見たことのある顔が!『赤倉登山道 安全に』の文字と共に、私の伯父で、土地家屋調査士の大先輩である「小林光義先生」の写真が大々的に掲載されておりました。

光義先生は亥年生まれのせい、目標に向かって真っすぐに突き進む「猪突猛進」な性格で、数年前から登山に夢中になっていることは聞いていましたが、まさか新聞に載るほど夢中になっていたことには驚きました。

どうしたらドジャースの大谷翔平選手のように新聞の一面を飾れるのか知りたくなり、申年の私も猪のごとく事務所に突撃しました。

青森県の津軽地方には『岩木山』という山があり、津軽富士とも呼ばれ日本百名山及び新日本百名山に選定されています。この岩木山には山頂へ向かう登山コースは5本ありますが、なかには手入れがほとんどされず、草木がうっそうと生い茂り、非常に歩きにくいコースもあります。

そこで2016年、登山コースのひとつである弥生コースを整備する必要があるだろうと、光義先生が会員となっている市民団体「津軽百年の森づくり」(代表:根深誠)が整備を主導し、津軽森林管理署から弘前市へ無償貸し付けがされた後でも、現在まで整備を担っています。尚、当時は土地家屋調査士で弘前支部の對田修司会員、五所川原支部の森下典光会員、木村信秀会員らの応援もあったそうです。

このような経験もあって、2022年、今回の記事に掲載された赤倉登山道についても弘前市から整備そして測量を依頼され、そしてこの中心となったのが光義先生でした。

※新聞記事内容はネットでもどうぞ→



【2016年 弥生コース測量】

【当時の赤倉登山道の測量作業について】

平地とは異なり登山道の整備なので、登山道入り口から中腹付近までの区間は、まず早朝に作業する場所まで登り、お昼ご飯を食べたあと、そこから下りながら作業をする。中腹から山頂までの区間は、車で8合目まで登り、そこからロープウェイで山頂へ。そして山頂から作業する場所まで一旦下りて、そこから山頂に向かって作業をするという、何とも過酷な作業を行っていました。

また、標高が低い場所は、樹高が高い木々が多く上空の視通がとれないためTSを使用し、反対に標高が高い場所は、上空の視通がとれやすいので、ドロガーによるRTK観測により位置と標高の観測をしていました。

杭については、番号のついた円形のアルミ板をプラスチック杭の頭にネジで固定したものを計206本を約5.3キロの登山道に設置したそうです。



邪魔となる草木についても自分たちで処理したようで、のこぎりや枝切りはさみ、時にはエンジン付きの草刈機（もちろんガソリンも）を持参して刈り取り、その片付けも行うなど大分苦労されたもようです。

こうした作業を日本山岳会や各大学山岳部OBの方々の協力も得て、足かけ3年でやり遂げられました。



【草刈り機を手に】光義先生㊦と同志の皆様

【今後の抱負】

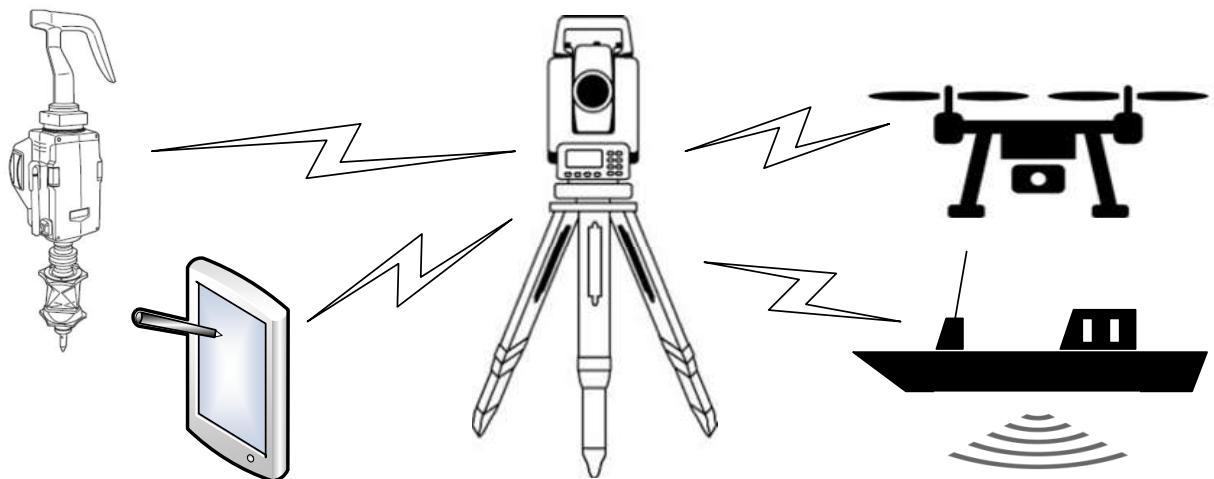
光義先生は過酷な作業を行うには体力が必要だと、毎日ウォーキングをしています。ウォーキングのせいなのか、久しぶりに近くで顔を見たら、肌がもの凄く艶々しておりました。

今後の抱負を訪ねると、まだまだ他の登山道の整備を行っていききたいそうで、山頂付近には赤倉登山道と弥生登山道を結ぶ近道があり、現在、弘前市の観光課から、その測量と整備も進める予定だと連絡があったようです。「いつか弘前支部の皆さんや、小笠原陽会長と一緒に山に登りたい！」そんな意気込みを見せる光義先生、まだまだ若い！尊敬します。

（なお、山登りの際、熊には気をつけてください。私は一緒に行きませんが…）



【甥㊦と艶々の伯父㊦】



測量機・最新測量システムのご用命は

tec 株式会社 **エフテック**

〒036-8115 弘前市広野2丁目23-7

TEL0172-55-8452 FAX0172-55-8453



凶器 道路標識「止まれ」

かさず2号がケイに必殺技「ウラカンラナ」で丸め込み3カウント！試合はヤッペーマンらの勝利で幕を下ろした。

会場が最高潮になった頃、私は速やかにTSを片付けて再び試合を開始させた。しかしまたもや両チームとも場外乱闘へ。選手らは測量ブースからプラ杭を奪い、なんと私の急所をめぐらしてボウリング攻撃！大ダメージを受けた私の急所はしばらく再起不能に陥ってしまった。ようやく私は回復し、すぐリングに戻った。リング上では、バラモン・ケイの羽交い締めから何とか逃れようとしているヤッペーマン2号の姿と、攻撃体勢のバラモン・シユウの姿が。しかしその手には「止まれ」の道路標識！「絶対に許すわけにはいかない。」私は止めさせようとシユウと対面。すると2号を羽交い締めにしていたケイが私を攻撃！そして今度は私がケイに羽交い締めをされてしまったのだ。シユウは私に標的を変え、凶器「道路標識」を振り下ろした！しかし私はすんでのところかわり、凶器はケイに誤爆！その時すかさず2号がケイに必殺技「ウラカンラナ」で丸め込み3カウント！試合はヤッペーマンらの勝利で幕を下ろした。



場外乱闘で再起不能!?

この結果に納得のいかないバラモン兄弟。あからさまに私に突っかかる。しかし試合が終わってしまったらこっちはもの。凶器攻撃をかわし、もはや私の体に染みついた「正固め」に流れるように移行する。空いた右手で測量そして視準するポーズを決め、手は「CHOUSASAI HI」の「C」を形作り、調査士アピールも忘れない。こうしてバラモン兄弟を撃退し、ヤッペーマンら観客から再び測量コールが巻き起こったのだった。



正固めと「C」で調査士アピール

3

松下の挑発 「さっさと帰れよ！」

ここで勝利者賞のプレゼンター松下会員が登壇！すると、なんとバラモン兄弟が松下会員にケチをつけ始めた。観客が心配の目で見守るなか、松下会員の目に炎が宿り、「負けたヤツらはさっさと帰れよ！」とガンを飛ばし挑発。激高したバラモン兄弟は「オレンジ、ためえぶっすぞ！」とヒートアップ。最終的には「次は大柳とタッグマッチでやってみよう！」と捨て台詞を残し去っていった。



オレンジ松下を私と2号で守る！

終わってみれば終始カオスだった第3試合。日本中、いや世界中のどこを探してもリングにTSが設置され、測量コールが巻き起こるプロレスは唯一なのでは？（これは果たして土地家屋調査士の広報になるのだろうか？なっていない欲しいが…）あと、今年はおレンジ松下に闘ってもらおうので、今から体を鍛えておこう！

昨年他には弘前でもみちのくプロレスの試合がありました！

①リング告知

「土地家屋調査士とは」どのような仕事を説明し、立会いをお願いされた時にはどうか怪しい人と思わずに、積極的にご協力していただきたい旨を告知しました。

②場外乱闘

私は普通に試合を観戦していましたが、バラモン兄弟に見つかり場外乱闘に巻き込まれ、また杭を打たれそうになりましたが、サスケ選手に身代わりになってもらいお尻は事なきを得ました。

みちのくプロレスは一昨年から新体制になり、改めて青森県土地家屋調査士会とコラボ広報をしていくことになりました。引き続き試合会場での広報や、選手協力による動画等の作成を行っていきたいと思います。よろしくお願ひします。



リング告知

みちプロタイムズ

調スポ

2025年
みちプロ
青森大会

1 満員御礼! 青森会×みちプロ

「昨年も「みちプロ」がはまなす会館（青森市）にキター！」

今回は「山谷林檎●地元凱旋 ゴールデンウィークシリーズ2025」と銘打った山谷選手（田舎館村出身）のプロデュース興行。私、大柳錦也広報部長（当時）に第3試合のレフリーをやって欲しいとオファーが来た。なぜって？わかかなあ、わかんねえだろうなあ？そう私は元みちのくプロレスラーだったのだ！後輩



むかきんTシャツで動画撮影

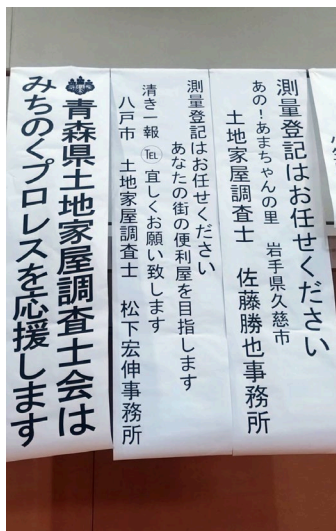
の頼みは断れない。その代わり（というわけでもない）、山谷選手に「むかきんTシャツ」（前号参照）を着てもらいたい動画を作成してもらった。

こうして迎えた昨年の5月5日。試合前には会場の一角にブースを構え、青森支部の江戸支部長の協力のもと恒例の測量体験を行った。見回す壁には多くの協賛幕が。その中には八戸支部の松下宏伸会員のほかに、なんと岩手会の佐藤勝也会員のものも！なんとということでしょう！応援ありがとうございます！

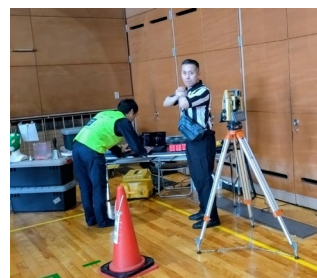
2 キレタ！第3試合 測量コールのカオス!!



そうこうしているうちに気が付けば会場はすでに満員！大観衆のなかいよいよ試合が始まった。第1試合、第2試合が順調に進んでいくと同時に私の鼓動が速くなる。そう、私がレフリーを務める第3試合が近づいているのだ。



佐藤勝也先生(岩手会)も協賛!!



恒例の測量体験コーナー

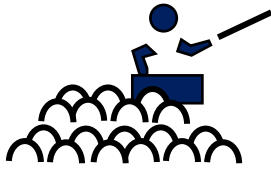
いよいよ始まった第3試合。ヤッペーマン1号、2号対バラモン・シュウ、ケイ兄弟の対決！そしてレフリーはこの私。ちなみに、この選手らはいいつも通常ではない。必ず何かが起こるのだ！観客への水吹きや場外乱闘といったルール違反は名物と言っているほど当たり前だ。私はこれらには慣れっこだったはずだが、今回の試合では「キレタ！」それは場外乱闘があまりにも長かったからだ。



試合中リングで測量!?

最初の場外乱闘が始まったとき、私はリングの中の決着を促すため、場外カウントを数え始める。1、2、...8、9...しかし4人は散り散りになって一向に戻らない。長い。まだまだ戻ってこない。イライライライラ...「ブチッ」
そう、私はキレタのだ。キレタ私はなぜかリングの上にトータルステーション(TS)を設置！そして測量する奇行に走ってしまった！場外カウントを数えながらTSで選手らを捕捉したが全く効果なし。(「あわよくば自動追尾のレーザーポインターでもやってやろうか」と思ったが)。
それどころか、ヤッペーマンらは観客に向かって「そっくりやろう！そっくりやろう！」と測量コールをするし、バラモンも便乗してか訳が分からんクレームを言い出す。
結局、私の努力もむなしく、規定の場外カウントを経過してしまい、両者リングアウトの裁定になってしまった。私は不満を募らせ「お前たち、こんな結果でいいのか！」と訴えたが「お前こそリングで測量していいのか！」とバラモンが言い返してきた。「測量が気に入らないのなら、次はNO測量マッチでやってやるよ！再試合だ！」とさらに私は言い返したが、「測量してるのはお前だけだろ」とバラモンら。ヤッペーマンらも「NO測量！NO測量！」とまた測量コールを唱え、会場はカオスに包まれた。

【令和6年度 第3回】【令和7年度 第1回】【令和7年度 第2回】



研修会

● 令和6年度 第3回

テーマ	開催日	会場	講師(当時)
① 過去の表示登記研究会内容の再確認	令和7年3月13日	青森	副会長 平尾 健吾
② 表示登記研究会の報告について	令和7年3月13日	むつ	総務・財務部理事 堀内 圭
③ マナブルの活用方法	令和7年3月14日	弘前	業務部理事 小林 一馬
④ その他	令和7年3月14日	八戸	業務部長 三上 大介

● 令和7年度 第1回 (開催日/令和7年8月28日 会場/アピオあおもり)

テーマ・講師	
① 土地家屋調査士向け補助金・助成金	講師 青森県よろず支援拠点アドバイザー 中村 貴志 氏
② 小規模企業共済の紹介	講師 中小機構 東北本部 地域・連携支援部 課長代理 渡部 明 氏 共済普及プロジェクトマネージャー 大場 浩 氏
③ 懲戒処分から学ぶ ～会員必携からの考察及び事例紹介～	講師 研修部理事 松下 宏伸 研修部長 大柳 錦也
④ 標高改定にともなう地積測量図の記載について	伝達 副会長、業務・広報部長 小林 一馬

● 令和7年度 第2回 (開催日/令和7年11月21日 会場/研修管理システム「マナブル」(ライブ受講))

テーマ・講師
・ 筆界認定に関する表示登記の運用の見直しと現場での運用・事例解説 講師 山口地方法務局長・元法務省民事局民事第二課地図企画官 田中 博幸 氏

第1回研修会の講師をつとめて

研修部理事 松下 宏伸

いつもはただ気軽に研修会に参加して聴くだけの立場であったが、研修会の資料作成や、講師を務めることになり、「いやぁ…大変なことになったな。」と内心プレッシャーを感じていました。

研修会の内容も懲戒処分事例をやることに決まってから、過去の研修会の資料を探しているときに、平成30年(2018年)に赤平さん(当時総務・財務部長)が講師を務めた時の資料を発見し、「これは参考にできるなあ…」と少しほっとしたことを思い出します。

通常業務の隙間時間を見つけての資料作成は、実際やってみるとすごく大変で、今まで理事で講師を経験されてきた先輩方も、同じような思いをし、苦勞されただろうなと想像がつかます。

また、資料作成でひと段落して、研修会まで余裕があるなど高を括っていたら、あっという間に時間が過ぎて事前の練習も数回しかできなくて、研修会当日の話し方や、進め方はどうすればいいのだろうと悩みながらも、日々業務に追われて中途半端な感じで、研修会当日を迎えてしまったところでした。

いざ、研修会当日になり覚悟を決めて壇上にあがると、傍聴席側は暗くなり、自分のPC画面とス

クリーンしか見えない状態に緊張してしまいました。研修会の時間も押している状態で、作った資料の説明をなるべく進めなければという思いもあり、いざ始まると頭が真っ白になって考えていたことが飛んでしまい、焦りながらひたすら資料を読み上げるだけになってしまいました。

研修会後のアンケートでも、「読み上げただけでは…」 「ポイントを絞って解説したらよかった。」 「資料をA4に印刷すると文字が見えませんか。」 「テキストを読み上げるだけなら資料配布でよい。」 「タイトルに考察とあるが、あまり考察としての内容がなかったように感じた。」 等々の厳しいご意見をたくさん頂戴しました。

私が講師でなく、傍聴席で研修を受ける立場だったら、おそらく同じような感じ方をしたのだろうと思います。

会員の皆様の貴重な時間を、あまり意味のない時間にしてしまった責任を感じて、反省しているところです。

今後また講師をやることになったときには、通常業務と同じで「段取り八分」を心がけ、しっかり準備をしてのぞみ、皆様に実のある研修になるよう、今回の経験(失敗)を生かしたいと思えます。



【研修会のようす】



役員のひとつこと



副会長（総務部、財務・社会事業部 担当）

太田 昌宏（五所川原支部）

副会長を拝命して2期目となり、職責の重さを改めて感じております。就任以来、私達土地家屋調査士の立ち位置や会のあり方を見つめ直す機会が多くありました。今までとは比較にならない、物価や賃金等の上昇、またAIをはじめとする技術革新の急速な進展により、社会や顧客から求められる役割が広がっているなか、専門家として守るもの、変えていくものを問われていると感じます。

残り1年半程の任期ではございますが、今を直視し、未来に向けて開かれた組織を築いていきたいと思っております。変化を恐れず、学び、語り合いながら、次の世代へ確かな形で引き継ぐために精一杯努めてまいります。



総務部長

藤谷 大樹（十和田支部）

昨期まで総務・財務部長を2期務めました。今期は総務部長のみを拝命しております。気がつけば役員歴は4期目に入っており、そろそろ去り際のことを考えなければなりません。役職者はもとより重責を負っているものですが、その責務の過半は後進の育成と引継ぎにあると考えています。これらをなおざりにして、自分が退任した後に後任者がうまく能力を発揮できず、会務に穴が開いたとしたら、自分が在任中にいくら頑張ったとしても全体の評価はマイナスになるものと考えます。

ということで、今期は来期以降も残られる理事の方々に、非才ながら私の仕事を承継していくことに意識して努めたいと思っております。



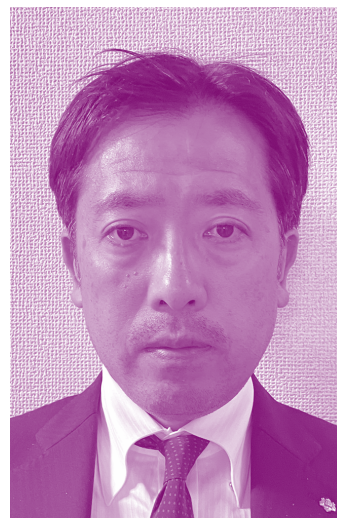
総務部理事

加藤 靖隆（青森支部）

令和7年度より、総務部の理事をつとめております青森支部の加藤と申します。

多岐にわたる議題に接し、あらためて、会の成り立ちに対し敬意を持つ機会となりました。藤谷総務部長のご指導のもと、持続可能かつ適正な会務運営に精進して参ります。

未熟者ではございますが、よろしくお願い申し上げます。



財務・社会事業部長
小向 直人（八戸支部）



新年あけましておめでとうございます。3期5年目となる今年度は財務・社会事業部長を担当することとなりました。財務部として適正な財務管理、社会事業部として所有者不明土地等問題・ADR活用検討に努めてまいります。

最近、当事務所近くにフィットネスジムが開設されたことから早速入会しまして、早朝・空き時間等を利用してトレーニングもどきをしております。ほんのわずかですが体が引き締まってきたかなと感じているところです。理事の残り任期はより一層気を引き締めてがんばる所存でございますので何卒宜しくお願い致します。

財務・社会事業部理事
對田 修司（弘前支部）



今年度から県の理事に就任しました弘前支部の對田です。部会、理事会などに出席させてもらい勉強になりました。また、今までは研修会に参加するだけだったのですが、研修会の裏方の仕事をさせてもらい新鮮な感覚でした。これからも、調査士会そして会員の皆様のお役に立てるよう頑張っていきたいと思っております。

★観測座標と既存の測量成果が一致しない！
測量現場を悩ます問題への一方策を提示！

境界確認における測量誤差
対応のポイント
— 既存座標と実測値 —

編集	江口 滋（土地家屋調査士）
共著	近藤 裕介（土地家屋調査士） 杉山 晴康（土地家屋調査士）

◆誤差が生じている境界座標を1つに集約させる方策「一点一成果」の考え方や採用基準、運用方法を解説しています。



A4判・総頁268頁
定価5,500円(本体5,000円) 送料460円



0120-089-339 (通話料無料)
受付時間 9:00~16:30 (土・日・祝日を除く)
WEBサイト <https://www.sn-hoki.co.jp/>



副会長（業務・広報部長、研修部担当）
小林 一馬（弘前支部）

あけましておめでとうございます。副会長及び業務・広報部長を務めさせていただいております弘前支部の小林一馬です。これまではヒラ理事として会務に携わっていましたが、約半年間、副会長及び部長職として会務に携わり、とにかく色々なことがありました。

悲しかったこと・・・、辛かったこと・・・、苦しかったこと・・・ すべての思い出を前向きにとらえ今年も元気に明るく、そして「滝に打たれてこい！」と言われないように日々精進して参ります。今年も何卒よろしく願いいたします。

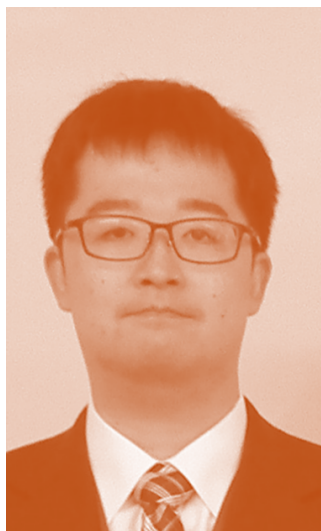
業務・広報部理事

古川 康仁（五所川原支部）

今（寄稿時）、世間では日本初の女性首相の誕生で沸いています。また、株価も日経平均株価が史上最高値の50,000円を突破し、トランプ大統領も彼女は勝者だと持ち上げています。そして、自・維連立では今国会期間中に、自ら痛みを伴う改革と称して国会議員の定数の1割削減を掲げて抵抗勢力と戦う準備をしています。

しかし、そのはるか前に土地家屋調査士の減少などに起因する会費の値上げ、人件費の高騰や物価高に備え、自ら痛みを伴う役員定数削減を実現した政権がありました。（14人→12人（1割強））それが、青森会の小笠原陽政権です。そしてもちろん削減後の役員は少数精鋭です。と言いたいところですが、足を引っ張っていると言われたいように残りの任期をがんばりたいと思います。

なにが言いたいかわからなくなりましたがとにかくよろしく願います。



業務・広報部理事

坂本 瞭太（むつ支部）

新年あけましておめでとうございます。今年度より、新人理事として業務部・広報部に配属されました坂本瞭太です。

初めて理事として県会の会務に関わらせていただき、慣れない業務に日々悪戦苦闘しておりますが、任せていただいた業務には真剣に向き合いより良い青森県会となるよう努めていければと思っておりますので、何卒よろしく願い致します。

研修部長

大柳 錦也（青森支部）

今年度より広報部から研修部に配属となりました。私自身まだまだ未熟な点多々あり、改めて自己研鑽の大切さを噛み締めております。会員の皆様のご意見を頂戴し、業務のプラスになるような研修を企画、運営できるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



研修部理事

松下 宏伸（八戸支部）

新年あけましておめでとうございます。研修部理事の松下です。

理事になってから2期目（3年目）になりますが、まだまだ研修部理事として力不足を感じているところです。与えられた役職を全うできるよう、日々アンテナを張り、研修のネタを探して、会員の皆様へ実のある研修ができるように、微力ながら頑張りたいと思います。

本年も宜しく願いいたします。

研修部理事

高島 奈美（弘前支部）

私は研修部に所属しておりますので、今年度の活動のメインテーマはやはり8月に行われた県研修会です。理事に就任して最初の仕事は、研修会の司会でした。土地家屋調査士業務もまだまだな私は、青森会のために何ができるだろうと不安でいっぱいでしたが、大柳研修部長始め、先輩理事の皆様の手厚いサポートのお陰で無事に乗り切ることができたと思っております。

11月28日の新人役員研修会（東北ブロック協議会主催）では、【土地家屋調査士の現在と未来】というテーマのもと、連合会副会長であります三戸先生の講義に参加してまいりました。

今まで自分のことしか考えなくても良い立場から、支部の役員をせずいきなり県の仕事を担うことの重大さを知らないままに拝命いたしましたので、まずは理事として、会員の皆さんのために尽力するという意識からスタートすることだと思いました。

そして、ゼロからスタートする良さを活かせるように、諸先輩や関わってくださる先生方の言動を取り入れ、私なりに発信できればと思っています。



東北ブロック協議会主催

新人役員研修会

【令和7年11月28日 仙台市 仙都会館8階B】

報告 業務・広報部理事 坂本 瞭太

令和7年11月28日に仙台市にて東北ブロック協議会（以下「協議会」という。）主催で新人役員研修会が行われました。

研修会は予め席が決まっており、各会から1人ずつ集め1グループとして席が分けられていました。

会が始まると、福島会の細野智弘協議会事務局局長が司会として進行し、山形会の菅原淳協議会副会長による開会のことばがあり、土井將照協議会会長からご挨拶をいただきました。

研修は青森会の三戸靖史連合会副会長が担当し、前半は連合会の活動内容の紹介が主なものでした。具体的には、戸籍の広域交付制度への対応や調査士カルテマップの推進・紹介、宅建業協会と図面について打合せをした話など、連合会が常日頃どのような活動をされているのか具体的なお話を聞くことができました。その他にも、連合会推薦の書籍として「境界確認における測量誤差 対応のポイント」についての紹介や、調査士カルテマップの今後の野望として、4項地図を1項地図と同じように表示する機能などについて聞くことができました。

後半の座談会では「建物が未登記であることが原因で起きる不都合」について三戸連合副会長が事案を集めているとのことで、各グループで案をまとめて発表をしました。発表された案としては、後から所有権を特定することの難し

さや未登記空き家への対応、融資や保険の要件とされる場合があることなどが挙げられていました。

研修会の最後は、秋田会の根本聡協議会副会長による閉会のことばで終了しました。

場所を移した懇親会では、京都会も合流し大勢での賑やかな会となりました。

普段接することのない他会の役員の方から小規模支部のお話を聞いたり、県役員を務め上げた後に新人支部長として今回の研修会に参加されている先生方のお話を聞いたりしながら懇親を深められる貴重な機会でありました。



【懇親会のようす】

☆東北ブロック協議会（令和7年度～）

会 長	土井 將照	（福島会会長）
副 会 長	菅原 淳	（山形会会長）
副 会 長	根本 聡	（秋田会会長）
理 事	小笠原 陽	（青森会会長）
理 事	高橋 一秀	（宮城会会長）
理 事	佐藤 保	（岩手会会長）
事務局長	細野 智弘	（福島会副会長）
監 事	鈴木 禎	（宮城会）
監 事	松岡 勇二	（宮城会）

※会長、副会長、理事は、各会会長の互選

※事務局長は会長のいる会から会長が指名

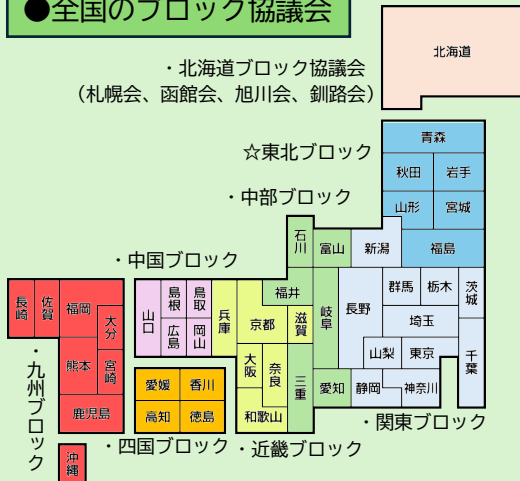
※監事以外は任期2年

※監事は任期1年で、次の年の総会開催地の会からの推薦により総会で選任

※総会は毎年1回、各会の輪番で開催
（現在、東北6県の反時計回りで開催
昨年は福島県で開催→今年は宮城県）

※年6回、監事を除く役員と各会から選出の連合会役員（連合会予備監事除く）が理事会を開催し、情報交換や新人研修会などを行っています。

●全国ブロック協議会



若手法務局職員が体験！ 地図作成事業 一筆地調査に参加

● 一筆地調査

一筆ごとの土地について、公図等の資料により調査した後、関係者立ち会いのもとに、毎筆の土地について、筆界の確認や地番、地目の調査を実施します。



● 経緯

「土地家屋調査士はどのように筆界確認を行っているのか、若手の法務局職員に業務を見せたい！」と青森地方法務局登記部門の佐藤隆昭 総括表示登記専門官よりお話がありました。

そこで、公嘱協会の協力のもと、若手の法務局職員の方たちに一筆地調査に同行していただき、土地家屋調査士が行う業務を見学、体験していただくこととなりました。

【期 間】 4日間

【時 間】 13:30～15:00

【実施箇所】 弘前市大字城南地区一丁目・二丁目・三丁目・四丁目の全部及び五丁目の一部

【内 容】 一筆地調査に若手の法務局職員が同行し、筆界確認についてどのように所有者等に説明しているのか見ていただく。また実際に所有者等から土地調査書に署名をもらったり、一筆地調査以後の作業工程の説明を聞いたりしていただく。

【担当調査士】 蝦名 隆 会員（弘前支部）

柿崎 博 会員（弘前支部）

工藤 傑 会員（五所川原支部）

（※経験豊富な登記官が指導官となり若手職員2～3名が参加）

● なお、参加された法務局職員の方々にアンケートをとりましたので、結果をご紹介します。



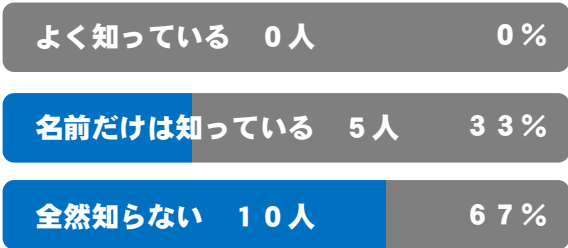


アンケート結果

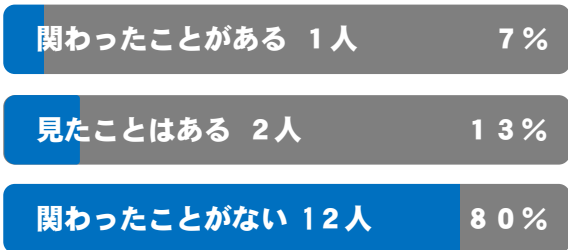
1. 回答者

年齢	平均 27.2 才 (22~33 才)
性別	女性 6 人 男性 9 人 合計 15 人
出身地	青森県 3 人 弘前市 3 人 青森市 2 人 岩手県 2 人 五所川原市 1 人 つがる市 1 人 鶴田町 1 人 仙台 1 人 無回答 (順不同)
配属部署	会計課 3 人 五所川原支局 3 人 弘前支局登記部門 2 人 訟務部門 2 人 本局登記部門 戸籍課 登記部門 人権擁護課 総務課 弘前支局総務課 (順不同)

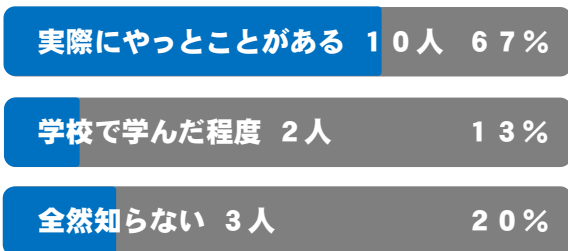
2. 法務局職員になる前に土地家屋調査士について、どの程度知っていましたか？



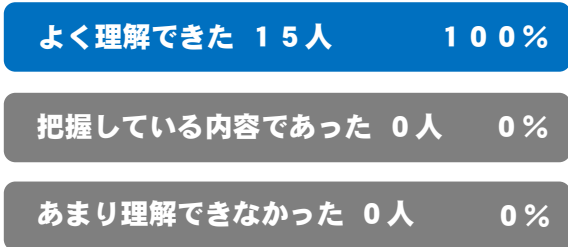
3. これまで業務外で土地家屋調査士と関わったことはありますか？



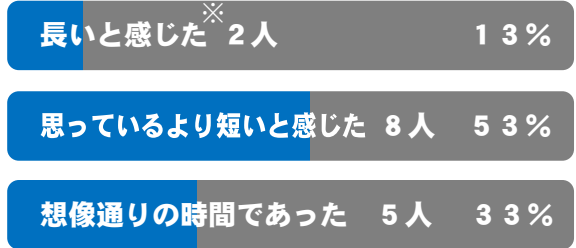
4. 測量についてどの程度知っていますか？



5. 土地家屋調査士が行う立ち会い業務について理解できましたか？

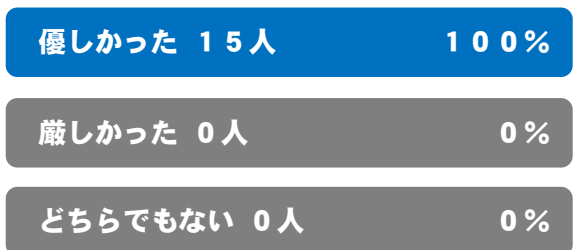


6. 所有者との立ち会いにかかる時間についてどのように感じましたか？

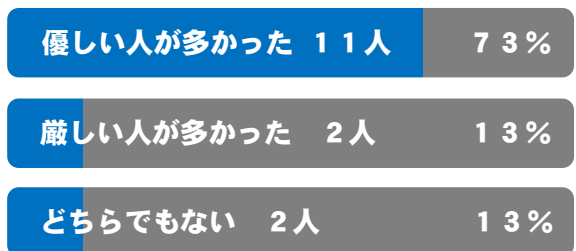


※「長いと感じた」1名の方より、「マイナスな意味ではなく、立会の方に対して丁寧に説明していると感じたという趣旨です。」と補足を頂きました。

7. 今回一緒になった土地家屋調査士さんは優しかったですか？



8. 土地所有者（立会人）の印象についてはいかがでしたか？



9. 来年も参加できるとしたら参加したいですか？



10. 今回の体験を通じて土地家屋調査士に対する感想やご意見がありましたら
ご自由にご記入ください。



22才
女性

実際に現場にたつことで、調査士の先生方がどのように調査を行っているのかを知ることができ、経験になりました。ありがとうございました。



23才
女性

登記されている面積から変動がある可能性等について、土地の所有者へ分かりやすく説明されていて、勉強になりました。



24才
女性

一般の方でも分かりやすいように丁寧に説明されていて、所有者の方々も今回の調査についてよく理解されているように感じました。非常に勉強になりました。



24才
男性

貴重な機会をいただきありがとうございました。今後の業務に生かしていきたいと思います。



33才
男性

タイトスケジュールかつ暑い中、親切に指導いただきありがとうございました。



33才
女性

時期によっては炎天下あるいは氷点下のなかで測量や立会をしなければならないとすると、非常に大変な仕事だろうとは思っていたが、今回の研修で実際に立会ってみると、思っていた以上にきつくて、苦労がしのばれた。



33才
男性

立会人の方に対して説明する際、事前調査で把握した事情と豊富な知識に基づいて、一般の方でも理解しやすいような平易な表現を用いるなどして説明しており、そのような姿勢は我々の業務でも見習うべきだと感じました。また我々が机の上で審査する書類を作成するために、とても長い時間と手間をかけていることが分かり、純粋に「すごい」と感じました。（語彙力が不足しているせいで、適切な表現が思い浮かびませんでした。）今回は、業務ご多忙の中、貴重な機会をいただきまして、誠にありがとうございました。

- 今回参加していただきました職員の方々にとって、非常に有意義な体験となったようで、大変うれしいです。オンライン申請が進み、調査士が職員の皆様と直にお会いする機会が少なくなりましたが、今回のような一緒にの企画がまた実施できることを祈念いたします。



レアな自動販売機

DRONE : S.MASAMORI 号

▶ START
CANCEL

レア① お守り



青森市長島、廣田神社の向かいの金生（かねうみ）稲荷神社に設置されているお守りの自販機です。

こちらの神社は「金を生み出す稲荷さま」として知られ、お金にまつわるお守りを取り扱っております。

その他、りんごのデザインのお守りや御朱印もあり、24時間、社務所が開いていない時間でも入手する事ができます。|

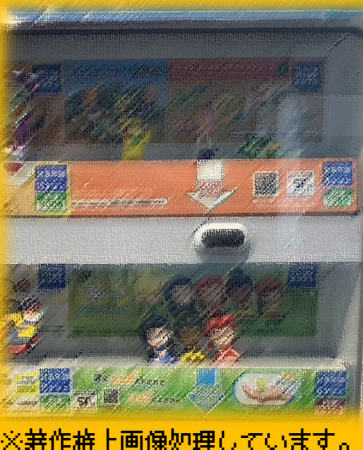
レア② パンケーキ



北海道・東北ブロック交流会の翌日、函館山ロープウェイ山頂駅の三角点を調査に行く途中で見つけました。

元町にある「cafe wave snow」店舗横にはパンケーキの自販機があり、お店で食べられるパンケーキやクッキーを買う事ができます。|

レア③ ガチャガチャ

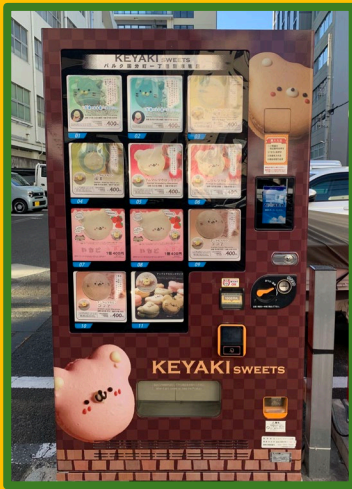


※著作権上画像処理しています。

ロープウェイ山麓駅ではガチャガチャ自販機がありました。

ポケモンやミニオンズ、マリオのマスコットが3種類からランダムで出てきます。|

レア④ マカロン



宮城青調会の研修会に参加した際に国分町で見つけました。

「KEYAKI SWEETS」のマカロンは可愛いアニマルがデザインされています。

帰りに栗原市自販機ミュージアムに行きますか？

- ▶ はい
- いいえ



GOAL！ 栗原市 自販機ミュージアムに着いた！まさに、自販機の宝石箱や～！



冷凍ラーメン



仙台牛タン



もつ煮込み みつ子



Tシャツ 他多数



ラッピング自販機 ※商品は出ない



50台近く自販機がズラリと並ぶ光景は圧巻でした。

ここではほんの一部を紹介します。ちなみにミュージアムではギネス記録を目指しているそうです。

セーブしておわりますか？

- ▶ はい
- いいえ



● ベストショット 2024 写真で一言 作品発表

前回、会報あおもり210号の「ベストショット2024 写真で一言」のコーナーで、写真2人のセリフを募集した結果、富山会名誉会長の中村忠嗣様の作品を当選とさせていただきました。

富山ならではのセリフで、写真のように何杯でもたくさん食べられたら嬉しいですね。

副賞として青森会特製の「むかきんTシャツ」を贈呈したところ、後日、写真とともにコメントもいただきました。ありがとうございます！



「むかきんTシャツ」で決めポーズ！
【富山会名誉会長 中村 忠嗣 様】

さらに、福島地方法務局若松支局の大久保祐一様からもご応募いただきました。

大久保様は以前青森地方法務局に在籍しており、令和6年度第1回の研修会では相続土地国庫帰属制度について講師を務めていただきました。

いつも「会報あおもり」を読んでいただき、ありがとうございます。福島はいかがですか？おいしい地酒がいっぱいあるので、飲み過ぎに気を付けてください。また青森にいらっしやるのを楽しみにしています。

募集 下の写真の吹き出しを埋めてください

富山会名誉会長 中村忠嗣 様の作品

美味しい？

あ、まあ…
ホタルイカの
季節だなあ…



★ ベストショット2024 写真で一言 ★

本当に貰えるとは、が正直な気持ちです。
ありがとうございます。
青森会の皆さま、このTシャツを着て
お出迎えしますので是非是非、
ホタルイカ・白エビ 食べに来られ～

募集 下の写真の吹き出しを埋めてください

大久保祐一様(福島地方法務局若松支局)の作品

楽しかった青森を
思い出します

福島局でも、会報あおもりを
拝読し広めております。
お好みは「みちプロタイムズ」です。
ユーチューブも広めております。



★ ベストショット2024 写真で一言 ★

青森県土地家屋調査士会主催



令和7年7月25日開催

【講師】

小林 一馬 副会長、業務・広報部長
大柳 錦也 研修部長

【研修内容】

1. 会員心得・事務所運営及び倫理について 80分
2. 調査士業務に関することについて 60分
3. 土地家屋調査士会について 40分



【研修会のようす】

青森会新人研修会に参加して



高橋 正寛
(青森支部)

県会の幹部の皆様、および事務局の皆様、この度は私達新人のために、このような研修会を企画・開催いただきありがとうございます。

全体研修ではなかなか踏み込むことができない実務の細かいお話や、法律や規則だけでは語れない実情・アドバイスなどを伺うことができ、大変密度の濃い1日となりました。

今回、講師の先生方が、日頃よりお世話になっている小林一馬先生と大柳錦也先生だったこと、また受

講側も、普段から交流のある猪ノ口務先生と私の2名であったこともあり、とても明るい雰囲気の中での研修会となりました。

県会の先輩方には、今回の研修会に限らず、多くの研修や交流の場を設けていただき、重ねて感謝申し上げます。

現在登録1年ほどであり、まだまだ力不足を感じている日々ですが、頼れる先輩方や仲間がいることを忘れず成長していきたいと思えます。



猪ノ口 務
(五所川原支部)

講師の皆様、お忙しいところ長時間御対応いただきありがとうございます。

過去の経験談や質疑応答、資料の提供等がありとても有意義な時間となりました。

疑問点の解消、気づきにも繋がり今後の実務に役立てていきたいと思えます。

引き続き宜しく願いいたします。



New Face ～ 新入会員紹介 ～

今年も、これからも よろしくお願ひします！！



第800号

福田 亨

(青森支部)

R7.9.10入会

青森市富田五丁目3-8

TEL 070-4282-6166

○調査士会に入会して思うこと

令和7年9月に登録・入会いたしました福田亨と申します。ご縁があって、地元である青森の地で土地家屋調査士としてスタートできることを嬉しく思っております。

実務未経験での登録で、入会してからまだ日が浅いものの、先輩方に助けていただきながら、なんとか実務に取り組んでいるところです。

また、登録前から調査士の先輩方にはさまざまな相談に乗っていただき、ご面倒をおかけいたしました。

今後も先輩方のアドバイスを胸に、精進してまいります。

○調査士としての今後の抱負

現状、わからないことだらけですが、誠実に一つ一つの業務に向き合い、信頼を積み重ねていきたいと思ひます。

安心してご依頼いただける調査士を目指します。

○調査士になったきっかけ

私は身体を動かす仕事が性に合っていると感じており、また自分の裁量で働きたいという思いがありました。

資格予備校のCMで調査士の存在を知り、「これならどちらの希望も叶えられる」と考えたことがきっかけです。

○調査士の仕事を始めてみて

実務未経験での登録でしたが、実際に業務を始めてみて、ミリ単位の精度が求められる非常に難しい仕事だと感じました。

経験や段取り、咄嗟の判断力が重要だと痛感しており、現在は先輩方の技術を必死に学んでいる最中です。

奥が深く大変な仕事ではありますが、一人前になれるよう努力してまいります。

一方で、外での業務も多く、晴れた日の測量などはとても気持ちがよく、よい気分転換にもなっています。

○新しい年の抱負など

一日も早く、業務を一通り完結できるようになりたいと考えております。先輩会員の皆様には、何卒ご指導のほどよろしくお願ひ申し上げます。



第801号

吉川 主真

(弘前支部)

R7.11.4入会

弘前市大字泉野二丁目10-8

TEL 080-4721-9182



よろしくお願ひします。

退会者

- 工藤 力（八戸支部） 令和7年4月8日退会
- 櫻井 智保子（八戸支部） 令和7年6月19日退会

訃報

謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます

- 福津 隆史（十和田支部） 令和7年3月17日ご逝去
享年49歳

 編集後記

「会報あおり211号」を発行するにあたり、お忙しい中ご寄稿をいただいた皆様におかれましては、誠にありがとうございます御座いました。今期の業務・広報部は全員が初めての配属であり、会報作成に携わるのが初めてでしたが、AKA☆KINのお二方、他にもたくさんの方のご協力があり素晴らしい会報を作成する事ができました。

これから次の「会報あおり212号」の発行に向けて突き進んで参りますので、今後とも変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

（副会長、業務・広報部長 小林一馬）

会報あおり

 毎年1月15日発行

発行者 会長 小笠原 陽

発行所  青森県土地家屋調査士会

印刷所 ワタナベサービス株式会社

新体制での初めての発刊となりました。「会報あおり211号」如何でしたでしょうか。会員の皆様が業務を行うにあたり、その一助となれば幸いです。私ども業務・広報部では、より一層の紙面の充実を図るため、皆様からのご意見・ご要望をお待ちしております。どうぞお気軽にお寄せ頂きたいお願い致します。最後に、本誌発行にあたりご寄稿頂いた会員の皆様に御礼申し上げます。（業務・広報部理事 古川康仁）

会報あおりの作成業務に初めて参加させていただきましたが、横で見学させていただく時間が大部分でした。担当の方々やご協力いただいた皆さまが、日々の業務と並行して会報作成の進捗を毎日更新し、活発に報告や相談を交わしている様子を目の当たりにし、これまで何気なく読んでいた会報が、こんなにも情熱をもって作られていたのだと実感しました。この努力の結晶である会報あおりは魅力あふれる会報となったと思いますので、ぜひ皆様には楽しんでいただければと思います。（業務・広報部理事 坂本瞭太）

【特別価格・送料当社負担でお求めいただけます！】

改正が続いた「筆界をめぐる登記実務」のための解説書！



納得！明解！
筆界をめぐる登記実務

近刊案内！

元・横浜地方法務局不動産登記部門次席登記官 宇山 聡 著

2025年7月刊 A5判2色刷 200頁 定価3,520円(本体3,200円) → 特価3,170円(税込)

- コロナ禍の混乱で適切な理解の浸透が図られなかった関連法令等を整理しつつ、法務局職員や土地家屋調査士の実務における基本的対応等についてわかりやすく解説。
- 法務局における具体的な筆界調査手順を中心とした効率的な調査事例や、登記等類別別の事例、留意点などを集成。

登記官はここをチェック！
押さえるポイントはどこかがすぐにわかる！

見やすい
2色刷！

(公共座標に基づき作成された添付測量図)

登記官がみるポイント

- ※1及び※2については、チェック印として○で表示
- ※5は隣地地界線からの距離等をチェックすることにより筆界及び筆界に支障がないが確認する。
- ①：隣地地界線を記載しておく。合界地帯と比較する。
- ②：公定地帯として、必ずチェックし、調査報告書に記載されているか確認する。
- ③：図示された地帯と測量長の地帯につき、筆界点等から照合する。

地積測量図等の作成及び審査における留意点等について、実際の審査等を踏まえた審査用図面記載例を用いて解説！

※ 弊社既刊

「4訂版 表示登記にかかる各種図面・地図の作成と訂正の事例集」(2022年)と連動しています。



特別価格・送料当社負担	書籍注文書	ご注文締切	2026年 3月27日(金) 必着	お届け	確認後、4~5営業日にて、郵送または宅配にて出荷します(国内限り)。※在庫が無い場合は、少々お時間を頂きます。
ご注文	FAX.03-3953-2061			お支払	商品に同封の振込用紙をご利用ください(振込手数料は当社負担)。

書名	特価(税込)	部数
納得！明解！筆界をめぐる登記実務	40996 筆界登	3,170円

右記コードまたはURLからでも
特別価格・送料当社負担にてご注文いただけます！
<https://forms.gle/eu6KPQtDJ1PGsJq36>



販促コード：205221

フリガナ	ご注文日	年	月	日
お名前	TEL			
ご住所 〒	FAX			
	通信欄			

※ご記入いただいた個人情報は、商品の発送、お支払いの確認などの連絡および当社からの各種ご案内(刊行物のDM、アンケート調査など)以外の目的には利用いたしません。

その速さ、未だ健在。

The Trimble Surveying technology is last forever.



株式会社ニコン・トリンブル
www.nikon-trimble.co.jp

附属の会社名、ロゴ、製品名、その他の権利は、各社の商標または登録商標です。



Trimble S7/S5 Autolock Trimble S Series TotalStation

あなたが求める「速さ」とは何でしょう？

ターゲット追従スピード。測距スピード、そして再ロックまでのスピード。

このオートロックは、あなたが経験したことのない高い効率性をもたらします。

サーボ型トータルステーションの先駆者によるオートロックは、別次元。

世界の国土を測り続けてきたTrimbleは、測量作業の効率化を絶えず追求します。

— Trimbleのオートロックは唯一無二。

お問い合わせ先



株式会社 トリンブルパートナーズ東北

〒020-0021

岩手県盛岡市中央通2丁目8-2 4 MKビル2F

TEL:019-652-4477 FAX:019-652-4488

URL:<http://www.tp-touhoku.com>

MAIL:info@tp-touhoku.com

ハード&ソフト with ハート



株式会社シーエーピーシステム

〒030-0843 青森市大字浜田字豊田 28-6 ☎017(723)8788 FAX017(723)8789
E-Mail: info@capsystem.co.jp

[営業品目]

各社パソコン・周辺機器・出力機器の販売及びメンテナンス
各社アプリケーションソフトの販売及びメンテナンス
測量機器・GNSS・ドローン・ハンディースキャナーの
販売及びメンテナンス

[主な取扱アプリケーションソフト]

測量設計・土木設計・電子納品ソフト
測量CAD・建築CAD・グラフィックソフト
建築構造解析・土木構造物解析・各種積算ソフト



お気軽に
ご相談
ください

ワタナベサービスが
予算節減のお手伝い

低料金
高品質
早い納品

まとめてお見積りいただきとお得になります！

イベントバック ●ポスター●チラシ●パンフレット ●名刺●封筒●伝票

印刷のことなら、やさしく親切なワタナベサービスへお気軽にご相談ください。

高品質で早い！安い！企画にも強い！

ワタナベサービス(株)は
販売繁昌の応援隊!!

カラー印刷
ポスター、アルバム、チラシ、パンフレット、カタログ、メニュー、会社案内、リーフレット、報告書、カレンダー、記念誌、市民だより

会社印刷物
社内報、新聞、DM、営業報告書、雑誌、封筒、封金封、PR誌、年賀状、名刺、入場券、表彰状、チケット、商品券、マニュアル

ローコスト印刷
PTO印刷、パソコン入力、複製印刷、予算書、決算書、報告書、会議録、レポート、シール、ステッカー

パーソナル出版物
自分史、文集、書集、作品画集、写真集、詩歌集、自費出版物、絵はがき、手帳、便せん、専門書

データ管理
コンピュータ処理、名簿、ホームページ作成、テプリアライト

自費出版
自分史、エッセイ、ペット写真集、旅行記録、詩歌集、家族史、絵本

素材感の異なる紙上の印刷を体験してください。

今までにない最高の印刷技術を提供します。

美しい色

心の節目に、思い出を本にまとめてみませんか。写真や絵など、その時に思ったこと、感じていた家族のこと、愛しい動物のこと……
当社の編集者がお手伝いいたします。

自費出版





87周年
大特価
お得!!

ホームページ見てください

インターネットから申し込みで、特別割引実施中です!!



総合印刷の最先端を行く 創業87年の実績と信頼

ホームページより印刷申し込み下さい

ワタナベサービス(株)

TEL (017) **777-1388** FAX (017) 735-5982 〒030-0803 青森市安方2-17-3

アスハイム	ワタナベサービス(株) 青森支店	青森市役所
うらやま	新町通り	本町
青森本部	青森南平北橋	ビッグエコー
青森駅前	新緑	郵便局
八幡町	新緑	アパレル
八幡町	新緑	アパレル
八幡町	新緑	アパレル

測量機器総合保険 (動産総合保険) のご案内

日本土地家屋調査士会連合会共済会 測量機器総合保険の特徴

「土地家屋調査士賠償責任保険」とは異なりますのでご注意ください。

会員が所有・管理する測量機器(製品No.のある機器に限る)について

**業務使用中、携行中、保管中等の
偶然な事故による損害に対し、
保険金をお支払いします。**

例えば

1

測量中誤って
測量機器を倒し壊れた。



2

保管中の測量機器が
火災にあい焼失した。



3

測量機器を事務所、自宅等に
保管中に盗難にあった。



等

● 個別にご加入されるよりも保険料が割安です。

保険金額200万円の年間保険料

測量機器総合保険(本制度) : 30,000円

動産総合保険(個別加入) : 83,820円

**約64%
割安!**

● 免責金額はありません。

このチラシは動産総合保険の概要をご説明したものです。詳細はパンフレット等をご覧ください。

ご加入ご検討の方、パンフレットをご希望の方は桐栄サービスまたは三井住友海上までご連絡ください。

保険期間

2025年4月1日午後4時から2026年4月1日午後4時まで

※保険期間の途中での加入もできますので、ご希望の場合には桐栄サービスまでご連絡ください。

お問い合わせ先

日本土地家屋調査士会連合会共済会

取扱代理店

有限会社桐栄サービス

東京都千代田区神田三崎町1丁目2-10

土地家屋調査士会館6F

TEL 03(5282)5166

引受保険会社

三井住友海上火災保険株式会社

広域法人部営業第一課

東京都千代田区神田駿河台3-11-1

TEL 03(3259)6692



土地家屋調査士倫理綱領

1. 使 命

不動産に係る権利の明確化を期し、
国民の信頼に応える。

2. 公 正

品位を保持し、公正な立場で
誠実に業務を行う。

3. 研 鑽

専門分野の知識と技術の向上を図る。

会報あおもり Vol.211

令和8年1月15日発行

発行者 会長 小笠原 陽 発行所 青森県土地家屋調査士会

編集 業務・広報部(部長 小林 一馬 理事 古川 康仁・坂本 瞭太) 協力 AKA☆KIN 印刷所 ワタナベサービス株式会社